夕刊 滿洲日報 十二月十七日

沸返る熱誠な歡迎裡に わが全權華府に到着
米國務長官と驛頭で固い握手 自動車に同乘旅舍へ

【ワシントン十六日發電】若槻全權の一行を乘せたペンシルヴァニア鐵道特急ゴールデンアロー(金色の矢)は午前十時五分沸き返るやうな市中の歡迎裡にワシントンのユニオン停車場に到着した、停車場には國務長官スチムソン氏海軍長官アダムス氏を始め國務省、海軍省の高官連が此賓客の安着を祝さんとプラットホームに立並び出淵大使も館員を從へて出迎へた、若槻全權が晴れやかな面で汽車から降り立つやスチムソン長官が之を迎へ日米軍縮の大立物の間に意義深き握手が固く交はされた、一行は直ちに宿舍なるメイフラワーホテルに向ふ、若槻全權とスチムソン長官と膝を並べて同乘した自動車を先頭に數十臺の自動車は特にワシントン警察から選拔された私服巡査の自動車に警衞され沿道に堵列して歡呼する、市民の間を縫つて靜かに走る、停車場でもメイフラワーホテルでも目拔きの建物は一樣に日米國旗を掲げて此遠來の客に敬意を表してゐた、ホテルに入つた一行は長途の旅に疲れた體を休める暇もなく一時四十分日本大使館を訪問し此處で若槻、財部兩全權、出淵大使、安保、川崎、山川、樺山の各顧問、左近司中將、山本少將、齋藤外務省情報部長等が集まつて記念撮影をした

若槻全權が米大統領に 根本方針を率直に披瀝
白亞館の歷史的會見において

【ワシントン十六日發電】若槻全權は十六日午後二時十五分(滿洲時間十七日午前零時十五分)正式にフーヴァー大統領を白亞館に訪問することになつてゐるが此の會見の日本側の顏觸れは若槻、財部兩全權、安保、樺山、山川、川崎各顧問、左近司中將、山本少將、齋藤情報部長でアメリカ側はフーヴァー大統領を始めロンドン會議の米國全權スチムソン國務長官、アダムス海軍長官及び海軍顧問プラット、ジョーンズ兩提督、國務省極東局員バレンタイン氏其の他が出席する筈であるが、右會見に於て若槻全權は從來出淵大使とスチムソン氏との間に行はれた豫備交渉に於て明かなかつた帝國政府の對軍縮根本方針たる

一、制限よりも縮小
一、補助艦對米七割 特に八吋砲巡洋艦絕對七割要求

につき具體的且つ率直に其眞意を披瀝してフーヴァー大統領の諒解を求め更に翌十七日午後には米國首席全權スチムソン國務長官と會見交渉を遂げる筈で日米豫備交渉は玆にフーヴァー大統領との歷史的會見並びに兩國首席全權の重要會見に於て正に最高潮に達する次第である

【寫眞は米大統領と若槻全權】

齋藤總督が松田拓相と重要打合せ

最近の朝鮮の狀況を報告すると共に統治方針につき打合せを遂げ、十三日午後二時拓相官邸に於て松田拓相と會見し重要會見を行つた(寫眞は會見中の松田拓相と齋藤總督)

イタリーの 軍縮全權

【東京十六日發電】其筋着電によればイタリー政府は五國海軍會議イタリー全權を十五日左の如く決定し英國政府に通達した

外務大臣 グランジス
海軍大臣 シリアニ
駐英伊太利大使 ボルドナロ
海軍大將 アクドン
專門委員としては外務省側ロッソ

上海租界買上論
外商が五億兩奮發し支那は外債を樂に支拂へるが主權保持の手前ウンとはいへぬ

これまでは支那での唯一安全地帶とされてゐた租界も、支那側の租界回收熱の勃興と、打ち續く內亂とで、必ずしも安全地帶ではなくなりつゝあるのみならず、遠からずして租界は支那の手に還るやうになるであらうといふ觀念から、租界といふもの、存在意義の影が漸次薄くなつてきた此頃、上海の租界を一ッ買ひ上げやうではないかといふ相談が持ち上つて、而もそれが上海の經濟界で眞面目に傳へられてきた。◇

何んでもその內容といふのをみると、現在の共同、フランスと閘北、南市其の他附近の若干を包含する土地を、九十九ケ年の期間で支那から租借しやうといふので、その管理は略現在と同じく列國の共同管理とし、國際聯盟保證の下に在りて、その安全を保障し、そしてこゝに世界に於ける最も自由な、そして最も大なる近代都市を建設しやうといふのである。◇

勿論支那がこんな買收に應ずるかどうか、今の處では疑問だが、ので、之を支那に支拂つたら、支那は此土地の共同管理權に與ることが出來る上に、更に五億兩の金を掴り得て、支那の外債は之によつて全部支拂つて了ふことが出來る譯で、支那の爲めにも、此案は決して惡いものではないといふのである。◇

それに、此金額は各國で公債を發行し、募めるのに譯はないといふ、買收價格を五億兩(約七億圓)と見積つてゐる、因つて、運動にとりかゝらうとしてゐるものすらあるといふ有樣である。◇

かくてこゝに一大自由の都市を建設したならば、上海は正に一日千里の槪をもつて發展するだらうといふので、儲けごとにかけては拔け目無い上海商人は、早速これこそ名案とばかりに、最近一部では一致贊成を表して、更に具體的運動にとりかゝらうとしてゐるものすらあるといふ有樣である。◇

之を聞き知つた支那側はそれは大變だ、上海が獨逸してみんなが金儲け出來るのは兎に角として、此際支那として之を認めるのは、近來高唱してゐるところの國權回收、主權保持の國民的大信條に戾ることゝ甚だしいといふので、上海買收の計畫なるものは必ずある種の野心から出發してゐるものであつて、上海をドイツのダンチーヒと一せんとする野心國の後押しによるものに違ひないと稱して、上海の租界經濟界人會では早速協議した結果、とりあへず南京の外交部長王正廷氏に對して、外交部長としての反對意見を發表せよと電報で催促したものである。◇

上海が世界に最も自由にして最も大なる都市となり、上海に住む外國人よりも寧ろ支那人の方が、しこたま儲けることが出來たらばないのであらうが、時が時、丁度支那人としては何でもいはうとはしない利權回收など流行るときだものだから、なかく、オイそれと纏まれぬのも無理はない。【上海發】

東鐵の新管理局長 勞農一流の人物を任命

【ハルビン特電十六日發】新任東鐵管理局長ルドウイ氏は旋盤工の出身本年五十歲交通省鐵道部長代理、同管理局長デニツブ氏は交通省總監督官で技師、これまでにない一流人物を任命した事は東鐵に重大性を現はしてゐる

掠奪部落に放火し 犯跡を晦ます支那
免渡河以西各地は極めて平穩

國際列車前進に努力

【免渡河特電十六日發】國際列車は極力支那に交渉中で牙克石前方の狀況は支那軍の報告と相違し極く平和であること判明し一行の前進を故意に支那側が阻止せんとする態度を以て軍艦詰し若し支那が承認せぬ時は自動車により難關をも突破し目的達成すべく努めてゐる、免渡河における支那軍の掠奪で三百に足らぬ一村は殆ど全滅に近く國際列車到着する前既に支那側は放火して其迹を晦まそうとし餘燼を見受けたるも目的地に向ふ旨を通告し再考を求めた、十六日夜か十七日朝回答ある筈、若し不可能の場合は代表二名を國哈せしめ哈爾賓の日米領事より交渉せしむるに決定し一行は如何なる

師範の年限

【東京十六日發電】師範教育の改善に關する全國師範學校長會議は十六日の最終日に於いて答申案を決定したが制度として本科三年を科三年とし其成績により中等學校下級敎員の資格を與へる事等を答申して居る

犬養總裁靜養

【東京十七日發電】犬養政友會總裁は十六日來風邪の氣味にて一切の訪問客を避け四谷の自邸に靜養中である

關東廳の新規要求 二十一萬圓を承認
警備力充實費と鹽輸出補助費 廿日の閣議にて決定

【東京十七日發電】拓務省では各植民地特別會計昭和五年度豫算に關する大藏省の査定の結果に對し過般來復活を期すべき項目につき折衝中の處十六日に至り大體の決定を見たが、尚一、二未決の項目が殘つて居りかたく計數の整理が間に合はないため十七日の閣議に附議する譯には行かなくなつたので廿日の定例閣議で決定する筈である、關東廳の新規要求項目中承認されたる項目並びに金額は左の通りである

一、警察力充實費十五萬圓
一、鹽輸出補助費六萬圓

橫田教授渡英

【東京十七日發電】ロンドン會議に國際法學者として出席する隨員東京帝國大學法學部教授橫田喜三郞氏は十六日午後九時二十分東京驛發シベリア經由渡英した

鈴木參謀總長 勇退延期

【東京十七日發電】宇垣陸相は十六日陸軍三長官會議の席上陸軍滿期に近き鈴木參謀總長の勇退問題につき一、滿限まで僅に二ケ月餘を餘すに過ぎないこと 一、軍制改革が近く大綱決定の運びであり之につれ當然鈴木大將の留任を必要とすること等を理由として滿限即ち明年二月まで勇退の決斷をなさぬる旨の諒解を求めた、なほ明年二月までに鈴木大將の男爵問題が具體化する模樣である

藤田佐竹兩氏の 辭任要望

【東京十六日發電】疑獄事件の進展に依り貴族院の一部に對する疑惑は益々濃厚となりために職合會に於て綱紀肅正運動再燃の形勢を馴致しつゝある同和會も此等の氣運に刺戟され藤田謙一、佐竹三吾氏等に對しては反省を促し自發的に議員辭任の方途に出でしむべきであると意見有力に唱へられてゐる

內鮮人共同の 新農村を建設
經費十七萬圓で朝鮮江原道に

【東京十七日發電】海外協會中央會では邦人の海外移住の外內地移住の必要なるを認め種々計畫中であつたが本年度に於て樺太に百五十戶の移住者を送ることゝし同時に朝鮮に內鮮人共同の新しき農村を建設する計畫を以て永田幹事が二回に亘つて調査を爲せる結果適當の候補地を得、拓務省に對しては成鏡北道に一千町步の貸付を、朝鮮總督府には江原道に二百十町步の買收を出願中の處江原道の方は既に當局の諒解を得たので本年度中に十七萬圓を以て之が買收を了し日本人三十戶、鮮人六十戶を送る筈

石友三軍討伐 兩軍に攻擊命令

【南京十六日發電】京漢線方面に在る唐生智軍討伐の軍事愈々進むと共に蔣介石氏は津浦線に在る石友三軍に對し積極的行動を開始すべく第二師團長顧祝同、及び第二十二師の兩軍に對し攻擊命令を發した

滿鐵新課長 略歷
十六日附發表

十六日附にて發表された滿鐵新課長級の略歷左の如し

小須田常三郎氏

新任興業部庶務課長小須田常三郎氏は群馬縣出身で明治四十三年東京高商卒業、同年五月滿鐵入社、鐵道事務所を振出に沙河口工場會計課長兼庶務課長を經て洋行した

二村光三氏

社會課長に榮轉した二村光三氏は福島縣産で明治四十二年東京帝大政治科を出で海軍に入り從五位勳四等海軍主計中佐で退官、英獨駐在當時勞働問題を研究した人で滿鐵には大正十四年七月入社、十五年四月迄に社會課事務囑託、同月人事課職員參事務係主任として採用され今日に至つてゐる、現市

小倉鐸二氏

新任奉天地方事務所長小倉鐸二氏は神奈川縣小田原の産で大正元年十一月鐵嶺地方事務所長兼鐵嶺駐在當事から外事課長兼社會課長を經て一ケ年洋行し歸朝後審査役から再び社會課長となつて現在に至つた人、明治四十五年東京帝大政治科の出身

平山敬三氏

東京支社庶務課長兼務を命ぜられた平山氏は茨城縣産で大正七年東京帝大獨法科卒業と同時に滿鐵に入社し京城監理局運輸課勤務を振出しに長春貨物主任、安東驛長、大連鐵道事務所庶務長に經て十四年二ケ年の歐米留學を命ぜられ歸朝後鐵道部人事係主任となつてゐたが此程東京支社運輸課長に榮轉した人である

廣崎浩一氏

會計課長代理に榮轉した廣崎浩一氏は大分縣出身で明治四十一年神戶高商を卒業、韓國政府財務監督局主事から大正七年十二月滿鐵に轉じ會計課勤務、大連醫院事務長を經て歐米へ洋行を命ぜられ朝後衞生課庶務係主任となる

張發奎軍總崩れ
廣東の不安全く去る

【廣東十六日發電】張發奎軍及び廣西軍は廣東に於ける最後的陣地の總攻擊に於て死傷五千、捕虜三千を出し總崩れとなり退却したので政府軍は徹底的に之を擊滅すべく中央軍は張軍を、東路軍は廣西軍を夫々追擊中である、廣西の淵知で廣東市中の不安は全く去り中央銀行紙幣も一元につき五十錢から八十錢まで引戾した何應欽氏は蔣介石氏の命令有り次第廣東總司令部行營を閉鎖し南京に引揚げると聲明し其準備を始めてゐる、今や廣西軍は一先づ廣西省に引込むべきも張發奎軍は何れの方面に根據地を求めるか同軍今後の行動は重大視されてゐる

市長辭職勸告書
けふ監督官廳に傳達

十七日大連市會に可決された石本市長辭職勸告の意見書は十七日午前織田議長、二村、篤井、品田諸議員より石本市長に手交され、市長は自己宛以外の田中民政署長及太田長官宛の二通は田中署長の手許まで傳達した

入事

▲小須田常三郎氏(滿鐵興業部庶務課長)十七日各所歷訪新任の挨拶をなす
▲上田碩三氏(電通取締役)ロンドン軍縮會議通信統制のため十六日午後九時二十分東京驛發十七日午後三時敦賀より浦鹽經由西伯利線にてロンドンに向つた

新聞記者一行四名(▲ザリヤ社ウフトモスキー氏▲ルスコエスルオ社リヤーシンツイフ氏▲ルーポル社コルバクチ氏▲グンバオ社ムラショフ氏)は長春の積替狀況を視察した所その作業の整然として迅速なるに一驚を喫し露社の上に相に於て大いに宣傳に努め不安を一掃したが更に今回大連積出其他の狀況を視察することになり一行は十七日午後八時半着急行で來連することゝなつた

露字記者團 大連港視察 今夜來連

露支紛爭の結果北滿貨物は殆ど南行し大連を經出して輸出せられて居るが此大貨物が擧して東鐵、滿鐵間に圓滑に連絡せられて居るや此間露宣傳と共に從つて特殊商側に不安を懷しつゝあつたが此實情を調査すべく露に北滿にある露字

大觀小觀

市會議員は信任せぬといふ、石本市長は罷めぬといふ。◇

この相撲、結局、監督官廳の軍配に歸するか。◇

併し折角の自治市政、和衷協同何とか圓滿なる解決といふことは出來ぬものか。◇

殊に年の暮れだ。◇

今にも旗の樹て替へをと思はれてゐた廣東、どうやら持ち直し、張發奎軍が退却。◇

それに唐生智軍も不振。◇

そこで蔣介石氏も石友三軍に對して積極的の攻擊に出づるといふ。◇

だが、それだけでは南京の國民政府が安定したりといふことにはならぬ。◇

若槻全權一行、いよく、ワシントン到着、いはゆる歷史的會見の場合。◇

軍縮會議、多幸多望なれ。

天氣豫報

十八日 北西の風晴れ

各地溫度

	昨日最低	十一時
大連	零下八、六	零下二、〇
旅順	同 八、五	同 八、二
營口	同 一二、四	同 一三、六
奉天	同 一〇、九	同 一五、七
長春	同 一三、〇	同 一六、八

お正月もされぬ その日の糊口にも苦む 貧しい哀れな人

年の瀬も迫つてやがて滿蒙に力を合はせて働らいてゐるわれ〳〵同胞が心から祝ひたいお正月も眼の前に近づいて來たが、此のお正月を前にして其の日の糊口にも苦るしまねばならぬ貧しい人々の生活は涙なしには考へられない事柄である今日大連署管内で貧困者として報告された家庭が十三家庭皆聞くも氣の毒な運命に弄ばれてゐる

◆ ◆

四十七歳で八人の大家族を擁し自分は永の患ひで職にも離れ妻の飴賣と子女の行商で糊口を凌ぐ人、七十五歳の老齡になつて寄る邊もなくして暮す人、四十五歳になつて夫を失ひ子供を大慈園にあづけて附添婦となつて働らく人、夫婦共に健康勝れず不自由の身體で飴を賣り十三歳の長女と六歳の長男が行商をして暮す人、十五歳の長女が某所の給仕となつて僅な給金で生計を援ける家庭、七十一歳の老婆で近所の洗濯手傳ひで其の日の露命を繫くつなぐ人、七十六歳の寄邊ない老夫婦、五十七歳の老齡で附添婦となつて働らき三年來半身不隨で臥床中の夫を助ける人、華やかな娘時代を他所に見て僅かな御針の賃仕事で親と義妹の生活費を稼ぐ人等々――此の塵寰に生きるための苦さを餘りにも強く感じすぎてゐる人々の集りである

◆ ◆

其の他播磨町の救世軍大連婦人ホームには夫に別れた人、職に有りつけない人等、日本人四十三名朝鮮人五名の人がキリストの胸に抱かれてゐるし、東本願寺が經營する播津町の大慈園では親の無い、あわれな孤兒、親があつても其の親が家政婦となり女給となつて苦しい人生の戰ひをつゞけて行かなければならないために親の乳を求める事も出來ない幼兒そうした不幸な日本人の幼兒、兒童が三十一人御佛の光の下に養はれ、また小林太作氏の經營する春日町の滿洲託兒所には之と同じやうな運命の子供が十三人慈愛の下に育てられ、永井軍治氏が代表者である松林町の勞働保護會には職に離れ食に迫はれる日本人十二名朝鮮人三名支那人五名が夫々の保護の下に息づいてゐる

◆ ◆

此等極貧の人々に對しては例により關東廳財團慈恵資金からも夫々事情を斟酌して一定額の慈恵金を與へられる筈である

朝鮮銀行 十圓券 小さくなる

【京城十七日發電】朝鮮銀行では現在の十圓及び一圓券改造計畫を立てゝゐるが愈々明年四、五月頃より新銀行券が發行されることゝなつた、即ち現在の十圓券は携帶に不便であるに鑑み之を縱横共二分五厘方縮小するらしく既に圖案も出來上つた模樣である

惡いとは考へない パンフレットと宣傳ビラの審理 滿洲共産黨事件(第五日目公判)

滿洲共産黨事件公判第五日目は午前十時より續行、彌生高女五年生十七名は石川校長に引率され傍聽してゐた、パンフレット及びビラ

印刷に關しての審理に入り佐藤立つて

パンフレット謄寫に手傳つた者は廣瀬、田中貞美、出口、太田及び私であつたと思ひます、是を刷る時は學校に對しては秘密にしなければならないとは思ひましたが、法に觸れるとは思はなかつたから又其内容に就いても決して社會の安寧秩序を亂すものではなく傭員聯盟組織正當の要求だから何も惡い事をしてゐる氣は毛頭ありませんでしたビラを刷つたのはパンフレットが

世間に出て新聞紙上で騷いでゐたが是は單に滿鐵が騷いでゐるだけだと思ひました、當時又興論の一部として新聞にも斯くの如き事は騷ぐ程の事件ではないと云ふ記事も見えてゐたし私共は何等の不安無しにビラを刷りました

と答へ「出版物取締規則を知らなかつたか」と聞かれ「知りません」と答へ「工大豫科、本科でも法制經濟の科目があつたぢやないか」と聞かれ「憲法とかは習ひましたが

出版法等は習ひません でした」と答へる、次に田中貞美立ち

パンフレットは徹夜してやり私は原紙を書きました、官廳に屆出づべき事等は考へ及ばなかつたと佐藤と大體同樣のことを答へた

次に出口に就いても前同樣の審理ありビラ郵送の第七事實に移り阿部義照を審理し、次いで納富勇は生立及び讀書關係より更に傭員聯盟組織の趣旨及びビラ郵送について審問あり更に納富は當時の滿鐵會計事務に關し次に伊藤進止郎の審問に移らんとするや伊藤は「私は…

電信電話線 本日中に復舊 各地との連絡は完成

管内電信線の故障状況は十六日午前中に大部分を開通せしめ奥地及朝鮮發着電報は完全に開通し殘る區間線六回線の復舊工事を急ぐと共に同夜の降雨に對し極力回復線の保護に當つたので十七日朝に至るも別段故障を生ぜず各地への通信は完全に連絡して居る

併城子驛線も十六日午後五時一時全通したが、午後五時三十分再び不通に陷つた、然し十七日午前中には開通の見込みである又電話線は十六日午後四時迄に大連、旅順間四回線、大連、奉天間二回線、大連、金州間及大連、普蘭店間各一回線が全通した、今日は幸ひ天候も晴れたから電信電話各線とも本日中には全部復舊の見込であると

船の上に消防自動車 大連丸の火事

四番船艙から 大連丸發火 今曉一時頃見廻中發見し 放水三時間で鎭火

大連汽船の優秀客船大連丸(三千七百五十噸)は十六日午後四時五十分上海より入港第二埠頭十一番バースに横付けられ揚陸と共に同六時より積込貨物の陸揚げ作業を開始

船では甲板部練習生清水幸正(二三)主となり埠頭事務所より市内山手町三十三番地埠頭詰所貨物方永井佐吉氏(二四)監督取締のもとに第四番船艙より福昌華工苦力朱夢德、李某外數名を督して揚荷を行ひウインチを用ひて同船艙積込中の葉煙草をあげ午後九時五十五分終了一時中止してハツチを閉めて夫々仕事を了し就寢したが

翌十七日午前一時頃、同船船夫王殿發(二)が同船見廻り中同船尾の前記四番船艙附近より異臭が鼻を衝くので仰天すぐさま當直の二等運轉士宮越覺治に急報、非常汽笛を吹鳴した、一方水上署では同汽笛を聞くや直ちに大連、小崗子、沙河口、消防電所に通報、埠頭よりも消防隊驅けつけ、防火用小蒸汽大連丸等と協力、放水約三時間に亘り消火に力めた結果漸く同四時鎭火せしめた

原因は 煙草の吸殼

水上署では發火と共に島田司法主任主となりそれが原因及び損害額等に關し調査中である、先づ甲板練習生清水幸正を初め當夜作業に從事したものを一人々々召喚、荷役當時の模樣を取調べたところ十七日午前十一時に至り作業に從事中の山東省青州生れ福昌苦力朱夢德(三)の供述によりどうやら煙草の吸がらしい事が判明した、朱の供述によれば朱は當時船艙の中で作業をしてゐたものであるが甲板におつた苦力頭が今日の荷役はこれで中止するからハツチを閉めやうと云つたのでその折銜へて吸つてゐた煙草を捨てゝ上陸した、その煙草の火を朱はどう始末をつけたか判然としてゐない

といふのであつて水上署ではその供述を確むべく鋭意當時の模樣を取調べてゐるが或ひは右朱の自供の如く煙草の火による失火ではないかと云はれてゐる

損害高は 取調中 出帆は豫定通り

損害はＨ下大汽館で調査中であるが濡れによる荷物の被害が多く相當の額に上ると見られてゐる、發火した四番船艙は支那紙木綿及び綿物その他雜貨類と約二百四、五十噸積んでゐたもので、これが損害は共同海損により夫々船舶荷主及び保險會社が負擔するものと見らる、右につき高木大汽營業課長は

損害については目下調査中ですが同船艙の排水はもう殆ど完全に近く、三等船室の疊も敷換へて海務局の檢査も濟みましたから定期通り揚荷積荷を濟まし十八日、出帆させます

山梨大將起訴決定 上奏して御裁可を仰ぐ

【東京十七日發至急報】山梨前朝鮮總督は起訴に決定し二兩日中上奏御裁可を仰ぐ筈

陸軍々部の 奔走も徒勞 起訴問題の經緯

【東京十六日發電】山梨大將は現役時代最も嶮峻なる武人として部内に鳴つて居た關係上同大將の起訴は全陸軍の軍規々律に影響を及ぼす事甚大なるものあり、陸軍軍部はあげて同大將の起訴を欲せずこれがため宇垣陸相は濱口首相としきりに往來し又三長官會議に於いても意見交換をなす處あつたが一方司法部の態度は山梨氏が無位無官の一私人となるに於いては必ずしも起訴の要を認めずとなすものゝ如くなるため軍部では此の際將校分限令三條の規定により大將の自發的引退を希望し親友知己が介在して斡旋に努める處あつたが大將は今尚身の潔白を確信して動かざる結果軍部としては如何ともする事出來ず傍觀するの外なきに至つた、先きに備へられた山梨氏の自發的引退説は本人の意向に非ずして親友等の老婆心の結果であつたが、今や問題は他よりの手段ではどうにもならず起訴問題は僅に濱口首相の決斷如何による事となる譯である

…は受けません」と何故か、と聞かれるや「豫審に於いて私の思想を聽かれてから豫審判事より強制的に調書を作成された、こんな豫審決定に基いて裁判を受ける事は絶對に出來ません」と拒否し滿廷をどよめかしたが、裁判長は「さうなれば尚更此處で誤解をといて貰ふ爲詳しく事實を陳べ公判を容ばなければならないんだらう、一先づ休憩するからよく考へて御覽」と優しく諭し十一時四十分休憩となる

ヴイクターを繞つて 蓄音器商の紛糾 山葉洋行とチユリン商會の 競爭に端を發して

蓄音器界の覇王ヴイクターの滿洲代理店たる山葉洋行と露人經營チユリン商會との商賣爭ひに端を發し全滿のヴイクター蓄音機ならびにレコードの卸小賣業者五十餘名は

取賣價格 競爭を避くるを目的として今回滿洲ビクター蓄音器販賣組合を設立し創立總會を十六日午後一時から大連商議で上に於て開催した

然るに同組合には山葉洋行は加入し創立總會の委員長をなしてゐるが、一方の代理店チユリン商店に對しては組合加入を拒絶し一方チユリンしたのでは組合創立の運びに至つたのは山葉洋行の策動であると解し、今後は滿洲一圓に亘つて販賣値段の

切崩し をなし、組合を解散せしめると意氣卷き、いよいよ紛糾を大ならしめてゐる

何分ヴイクター蓄音器及びレコードの滿洲に於ける販賣高は年額百萬以上に達し、値段はヴイクター本店の指定によつて卸販賣をなす規定になつてゐるが、チユリン商會はこれを無視し指定原價を破つて卸賣を行つてゐた爲めに、市價は常に變動を免れず從つて小賣業者も

自由競爭 の止むなきに至つてゐた、依つて今回小賣業者の大同團結によつて、市價變動を防止し卸値及び小賣値の協定を行ふものであるといふにあるが、裏面事情は兩代理店の勢力拮抗に端を發してゐるとことは事實らしく、チユリン商會の切崩し策は全滿營業者の注目を惹いてゐる

不當に損害を蒙つてゐた依つて今回の團結を見たのである、チユリンが從來通り切崩しを行へば本店に規定に基き代理店の權利を取上げて終ふであらう、又チユリンから組合加入の申込みは全然受けてゐらぬ

組合成立の 意義なし チ商會の意見

組合加入を拒絶されチユリン商會では語る

組合創立の運びに至つた經路は云ふまでもなく競爭相手の山葉洋行の策動であると解する從來當商會は滿洲一圓に亘つて顧客本位に安値を以つて卸して來た即ち山葉で三百五十圓の商品を當商會では二百二十圓で卸してゐた一點でも解せられる、これに脅威を感じて今回小賣業者を糾合したものと思ふが今後私の方が從來通の安値を以つて卸せば組合組織の意義は無くなる譯だ

チ商會は 規定違反 山葉洋行談

一方山葉洋行は語る

從來ビクターへ卸小賣共に本店の指定價段に依る規定あるに拘らずチユリン商會で勝手に市價を亂してゐた爲め營業者は常に

マキノ俳優來連 正月に常盤座に出演

連鎖商店街の映畫館常盤座は近く開館の豫定であるが、開館祝ひは明春正月興行を期して盛大に行ふべく種々計畫中であつたが、豫て交渉されたマキノ男女俳優一行が來連し舞臺の共演をなすことに決定した、來連する俳優の顔觸れは谷崎十郎、根岸東一郎、中根龍太郎、津村博、荒木忍、マキノ登六及び川上君栄、泉清子、浦路輝子の北川よしえ、住の江輝子の豫定で顔觸れは多少變更されるかも知れぬが、牧野滿男氏が引率し一月二日出發の豫定である

除隊兵の 歸國期 廿八日と卅日

滿洲駐箚第十六師團除隊兵は十二月廿八日廿日の兩日に亘り夫々歸國することになつたが廿八日には呂宋丸にて約一千名、三十日出帆字品丸にも約千名を乘せ何れも午後三時甲埠頭九番バースを出帆する事となつた、追つて軍隊の乘船に際し援擁等をする向は來る十二月廿六日迄關東軍輸部大連出張所宛申込まれたしと

愛國運動

御認野卑な流行歌を驅逐し之に代る『健全なる歌』を募る、一等賞金二百圓以下多數、詳細は大日本雄辯會講談社發行の九大雜誌新年號を見よ

自殺の家出か

市內濱町濱町ホテル止宿和田猛こと高橋實は東京の實母ケイより自殺の虞があるからと電報にて大連署に保護を願出てたが、實は十六日外出したまゝ歸宅せず行方不明となつたので同署では市內外に手配して目下所在搜査中

Ｒ百號の 處女飛行

【イギリスヨーク州ハウデン十六日發電】イギリスが其の巨大を誇る飛行船Ｒ百號は漸く完成し本日午前七時五十分を期して其の處女飛行を試みた

同船にはスコット監督以下十五名の船員が乘組み機首をセルビーに向け爆音勇ましく壯途に上つた、途中姉妹船アール百一號が駐留されてゐるカーヂントン飛行場を通過することになつてゐる

ラヂオ放送 今夕より復活

故障のため十三日以來放送休止中の大連放送局では撤夜之が修理を急いだ結果本日中修理を終へ今夕七時より平常通り放送する豫定であると

> お正月の御祝餅は
> 林洋行で
> よいお餅で
> よいお正月を
> お迎へ下さいませ
> (肥前特等米特約)
> 大山通 林洋行菓舖 電五一〇九番

松島肇氏に 求刑四年 控訴公判

【東京十六日發電】牛込區北町卅四番地元代議士松島肇氏(五)にかゝる詐欺事件の控訴公判は東京控訴院にて審理中の處十六日松田檢事は前審通り懲役四年を求刑した、事件は大阪計器製造所より廿五萬圓帝國毛織より廿八萬八千餘圓を騙取し詐欺罪として懲役四年を言渡され控訴したものである

心中男女歸鄕

既報去る十一日添ひとげられぬを悲觀して瓦斯心中を圖つた元甃小學校訓導大野博一(假名)と女給佐藤照子の兩名はその後經過良好にて三日前大連醫院を退院したが聞くところによれば電報に接して郷里より來連した博一の實父及び照子の實兄は兩名の希望を容れて添はせてやることゝなり十八日出帆の香港丸にて實父付添ひの上兩名は郷里に歸ることゝなつた

慈善演藝會

肥前日々新聞大連支局主催大陸社後援にて來る十七日より三日間正午時より遊樂館に於て貧民救濟の慈善興行が行はれるが、落語、琵琶、追分等の外、大島伯鶴師の特別出演等もあり會費は一圓である

……月例の音講 市内天神町常安寺にては十八日午後六時半より日例觀音講法要を營み了りて若本主任の法話あるもの

けふのラヂオ

昭和四年十二月十七日(火曜日)

自午後六時 ニユース

自午後六時二十三分(內地中繼)

一、講演「美しい同情は正しい貧者へ」金田日出男

二、脚本朗讀 天一坊、場景、京都二條通り正洞院天一坊宿所の廣間、天一坊飛男、竹田伊賀之丞喜一郎、赤川大膳喜代三、老婆おさん宗太、庄屋息子藤五郎勇郎、溝尾藤太吉太郎、山崎七右衛門平二郎、本野正藏定次郎、片岡一平金一郎、天一坊家來辰男、同新一郎、解說放送指揮 村米藏、効果かもめ屋効果部

三、新內 夕霧伊左衛門 廓文章 富士松佐賀太夫

四、市續講談 快男兒第二席、大島伯鶴

五、料理獻立 以下自局より

六、天氣豫報

平安異香 (202)

葉多默太郎作
中一彌畫

さすらひ(八)

「あ、兄さん、お待ちよ」

呼ぶと、却つて男は足を早めて逃げるやうに行つてしまつた。

「なにを、あんなに恐がつてゐるのだらう」

見送つて、男が向ふの辻をまがつてから、おつねはぶらぶら歩きだした。

お爺婆さんの安宿へ歸ると、縁の下を覗きつけてゐたお爺婆さんが、

「どうだつたね、うまくいつたかな」

黒い齒を見せて、にっと笑つた。

「あゝ、二日三日は寢てゐられさうだよ」

懐中にふくらんだ財布を叩いておつねは苦笑ひだ。

「いゝ男もあつたらう」

「大きな聲をするでないよ」

目顔で知らせて、お爺を睨んで、そのまゝ草履を脱いで障子を開けると、椽の炭俵の端になつた柵にぺつたり座つて、お稲は髪を梳いてゐた。

「お歸んなさい。默つて行くものだから心配しましたよ。こんなに床をとつて待つてゐたのだけど」

起きたばかりの、腫ぼつたい眼が、黒髪の中からおつねを見上げて微笑むのだつた。

「それはお氣の毒。萩の知人を尋ねると久しぶりだから泊つて行けといふので——これ御覽、當分のお小遣ひ。路銀が嵩いといふのは時には助かるものね」

おつねはさういつて、鏡台の上に疲れた體を投げだした。そしてすぐ、宰の家で見た男の話をもち出した。

「ぼんやり藤生の中に立つてゐるのだよ。美しい女だと、さしづめ白狐の精とでもいふところだが、獅鼻を伸ばした男だから、氣違ひだらうと思ふて行き過ぎようとすると、急にその男が逃げ出したの。變な人だなと思ふてゐるうちに、ふと、何時かお前さんに聞いた職人さんの嘉吉さん、それでないかと思つたので聲をかけると、向ふは突き飛ばされたやうに走つてしまつたのですよ」

「年は三十くらゐの背恰好と見えたが、も少し若いかも知れない」

「藤棚の上に、男子がなかつた?」

「雨明りの中だし、そこまでは判らなかつたよ。誰も充分見ないくらゐだから」

「さうですか——」

「違ふかしら?」

「さうかも知れませんね。向ふもわたしを探してゐるのかも知れない」

「それやさうでせう。無事でさへゐるならお父さんだつて、爺だつて、血眼になつてお稲さんを探してゐるに違ひない」

いつて、欠伸を掌で叩きながらごろりと横になつたと思ふと、すぐにおつねは鼾になつた。

お稲は、櫛の手をとめて、庭の雛菊の中に蟲を啄いてゐる鷄を眺めてゐたが、

「小母さん、御飯はまだ頂けないかしら」

土間へ聲をかけて、もう直ぐだといふ返辭をきくと、髪をいゝ加減に濟ませて外出の身支度をするのだつた。

「おや、何處へお出かけだね、こんなに早く」

「何處つてこともないのだけど、少し町を歩いて來たいのです。おつねさんが起きたら、いゝやうに云つておいて下さいな」

ぶらりと宿を出て、南へ下つて西八條の昔の家、荒果てた門に立ち、背丈の蓬の庭に立ち、やがては家の周圍を廻つても見たが、壁にも板戸にも、目印らしいものも書かれてゐない。

溜息をついて、思ひ出の家の門を出た。これからは當なく町を歩いてみようと思ふのだつた。父か嘉吉かに會ふかも知れないといふ空頼み。

眞直に歩いてゐると、朱雀大路に出た。

北野天神の大祭を目近にしてゐるので、人の往來も何となく賑はしく、新調の幔幕を擔いで走る男もある。

羅城門まで行つて引返し、網代の牛車、騎馬、輿を避け避け、朱雀大路を北へ歩いた。

と、陽明院の辻に人だかりがある。

何氣なく歩み寄つて、人の肩から覗くと、眞新しい一本の辻札だつた。

近く開館の常盤座 準備全く整ふ

連鎖商店街の映畫館常盤座は新装成り準備整ひ來る廿日過ぎ開館の豫定である、その陣容は解説者に内地より新に甲見凌洋、長谷川櫻陽、幸田佩作、土山青兒諸氏を招聘しまた喜多流一郎氏が當分應援をなし音樂部は宮崎、庁野、長澤の三氏をはじめ洋樂七名の部員を擁してゐる、上映々畫はマキノ作品、東亞特作品及び各プロ作品と西洋映畫のフリーブッキングであるが、特にマキノ映畫は正月以後は内地と同時封切をなし更に毎月二回を限つて洋畫週間を催し壹日興行に兒童週間を開催すべく計畫を進めてゐる、而して上映卷數は一萬二千尺見當を限度として興行時間を短縮し觀客の連鎖商店内のショッピングに時間の餘裕を見ることになつてゐる

尚ほ東亞キネマの配給に關しては最近宗象一徳氏の手によつて滿洲配給所が生れ一方小泉友男氏は東亞本社との間に嵐寛壽郎作品のみを契約したと傳へられ其他各種の流説が行はれつゝあつたが、今回小泉氏は九州支社より直接に特作品のみの特配を受けその他は宗象氏が從前通り配給することになつたと

小波痴外氏

朝刊既報の如く大日活の開館に返り咲いた解説者小波痴外こと須山一巖氏は豫ての疾患により自宅に於て靜養中のところ十六日午後三時遂に永眠したが、遺骸は本日午後二時大連火葬場にて茶毘に附し葬儀は郷里福岡にて執行の筈である

氏は大正十年福岡縣金田より浪速館の解説者として招聘せられ爾來同館にて熱辯を振ひ一時は今は京城に去つた橘天桂氏(帝國館)及び演藝館の小笠原ライオン氏と鼎立して全盛を謳はれ緻密な解説を得意とし最近では日活特作品の「摩天樓」が最も好評を博したものであつた、また氏は研究心に燃え解説者界の人格者として人望を集めてゐたが、昨年十一月天津に去つてより逆境に陥り今夏京城に移り大日活開館に病をおして來連し遂に舞臺に倒れたものでその長逝は惜まれてゐる

常話

小波痴外氏遂に立たず友人の美しい情に包まれて淋しく消つた▲先代小りんとの情話も今は故人の情熱を物語る思ひ出となつて老虎離の多くも雪に埋まれて淋しい▲今は安東に去つた秋村宇都湖氏との友情は最後まで續いたが、その長逝を聞き秋村氏こそ感慨無量であらう▲昨夜松竹映畫配給に關し鳥羽で南、遠藤、吉田の三氏が會見した▲まだまだ處女實々の作品があるらしいと噂されてゐる

昭和四年十二月十八日 THE MANSHU NIPPU (水曜日) 第八千四百八十一號 (一)

滿洲日報

千夜一夜

完譯アラビアンナイト

豫約募集

推薦の辭

谷崎潤一郎

執れの民族にも長所と短所がある。我等日本人は多分に良き素質を有するに不拘、古來空想力の方面に於ては最も缺けて居り、此の點に於てゲルマン人、アラビア人、印度人、支那人等に遠く及ばない。我等の古典に大文學はあるけれども、未だ幻想的結構を逞しうしたものは一つもない。蓋し空想の才はやがて創造の才である。誰か科學とお伽噺の結晶たる、ツエッペリン號の發明を以て單なる機械的文明の産物なりとなす者あらんや。此れを思へば我等の缺點は藝術上の短所たるのみならず、科學に、工業に、政治に、經濟に、その影響する所は尠少でない。日本人にオリヂナリティーなしと云はれるのも亦偶然ならずではないか。

中央公論社長島中雄作君玆に見る所あり、空想文學として世界最大の寶庫たるアラビアの一千一夜物語を、リチアヤド・バートンの唯一の完璧なる英譯に依つて日本語に移さうと云ふ。眞に時弊に的中したる壯擧である。バアトン譯は予の愛讀書の一つであつて、斷じて幼稚なる童話でもなければ低級なる淫本でもない。實は從來流布されてゐた十分の一にも足らぬ部分譯でさへ、あれを「童話」として顧みようとしないのは、取りも直さず日本人の空想力の貧弱なるを證するものだと考へてゐた。今や浩瀚なる此の大册の完譯成る。現下緊縮の聲に怯えて萎靡しつゝある日本人よ、此の書に依つて將來有らゆる方面に發展すべき大創造力、大飛躍心を養ふがいゝ。

初めて開かれた東洋文學の大寶庫

本書の五大特長

□ **散文のシエークスピーア**

凡そ人間の想像し得る限りの、あらゆる怪奇と幻想とを納めた不盡不滅の寶庫として、「散文のシエークスピーア」と讃へられ、世界文學の王座を占めてゐた「千夜一夜」も、我國に於てはその一少部分が單にお伽噺として紹介されたに過ぎなかつた。又、世界を通じて唯一の完譯たるバートン版の如きも、一千部の限定版で、容易に手に入り難い稀覯本である。本社版は此のバートン版を基礎として原文の面影を忠實に傳へ、一部好事家に獨占されてゐた一大文學的寶庫を初めて大衆の前に解放するのである。

□ **世界文學史上の最高峰**

本書は藝術的價値から見ても、世界文學中の最高峰を示すものであるが、殊にその面白味に到つては數千卷の通俗小說、大衆文學も到底これに及ばないとは、夙に識者の認める所である。その雄大なる構想と、數萬の登場人物と變幻極まりなき筋の發展と、アラビアの熱砂の中に生れた奔放なる情熱と、全篇を彩る麻醉的詩情とは、實に近代の探偵小說に求めても到底得られないものである。此の偉大なる藝術的ピラミッドが、今日まで紹介されなかつたのは我出版界の恥辱といはねばならぬ。

□ **綜合飜譯の完璧**

かゝる大文學の完譯が、各方面から熱望されながら未だ曾て出なかつたのは、バートン版はアラビア原書に忠實すぎて飜譯困難であると共に、全十七卷、一萬五千枚といふ浩瀚を、一人の手では到底譯することが出來ず、又數人で譯する時は文章の統一を缺く恨みがあるからである。玆に於て本社は獨創的綜合飜譯の計畫を樹て、語學に堪能にして文才豐かな專門家十數氏に委囑し、熱心なる協力と嚴重なる校閲とによつて全篇四百二十八話の一篇を餘さず此の歷史的事業を完成した。諸大家の名に於て無責任たる飜譯の横行する今日、此の企ては大いに意義がある。

□ **最低廉の豪華版**

本書は一讀して捨てるべきものではなく、家庭的寶物として永久に子孫に傳ふべきものである。本社は此の點に留意し、印刷、製本、紙質、校正等に細心の注意を拂ひ、從來の圓本の型を破つて、書齋や客間の裝飾としても斷然異彩を放ち得る優雅、莊麗なる豪華版とし、而もそれを犧牲的廉價を以て提供することにした。更に錦上花を添ふべく、毎卷十數葉の挿繪を入れたが、この挿繪だけでも、最近某書肆から全三卷二十四圓で出版されてゐる位で、讀者を完全に魅了せずにはおかないだらう。

□ **近代的贈答品として好適**

本書の如き有益なる書が、クリスマスや年末年始の贈答品として絶好のものたるは今更いふまでもあるまい。それ故本社では、拂込者と送り先とを別記した會員カードを作成した。これによれば、月賦で贈物が出來るばかりか、先方の家庭から一年間に亙つて毎月新しい感謝を送られることが出來る。百パーセントの近代的贈答方法であると同時に、緊縮時代に最も適應しい贈答品だといふことが出來る。

本書は断じてお伽噺に非ず!!

內容見本進呈

先づ最寄の書店へ。無ければハガキで本社へ。

第一回配本豫定日

十二月二十日

豫約規定

- **體裁** 菊版上製(毎卷平均五百頁)極彩色木版手刷表紙。新鑄九ポイント、總ルビつき二段組。別製コットン紙使用。
- **頒布方法** 全十二卷(豫約者のみに頒ち、分賣は致しません)
- **刊行期日** 昭和五年一月から毎月一册づゝ刊行し、同年十二月に完了します。但し、第一回に限り昭和四年十二月刊行、申込順に配本します。
- **申込方法** 申込金壹圓を會費のほかに先づ申し受けます。(これは最終卷の全會費に充てます)申込金は如何なる事情に拘らず拂戻しは致しません。(一時拂ひの方は申込金不要)
- **會費** 毎月拂(一册)壹圓五拾錢 一時拂(全十二册)拾七圓
- **送本料** 會費、申込金等のほかに送本料を申受けます。內地—拾八錢(書留送本御希望の方はこの他に十錢増しのこと) 外—臺、滿、鮮、樺、南洋—貳拾四錢 國—參拾貳錢
- **拂込方法** 振替貯金御利用を最も便とします。(切手代用は一割増しのこと)振替口座—東京三四番
- **御注意** 特に遠隔の地に限り書店へ御申込みの方でも書店から運賃實費を請求することがありますから御承知おき下さい
- **締切日** 昭和五年一月三十一日

原書バートン版(全十七卷)百六拾圓乃至五千圓

中央公論社版(全十二卷)拾七圓

東京市丸ビル五階 振替口座東京三四番

中央公論社

電話 丸の内 二七五七 〇二〇六 二九五三

白堊館「赤の間」に我全權ら米大統領を正式訪問

十五分で辭去、海軍長官を歷訪 出迎への答禮をなす

【ワシントン十六日發電】若槻、財部兩全權、山川、安保四顧問、左近司中將、山本少將……一行は本日午後二時十五分白堊館にフーヴァー大統領を公式に訪問した……駐日臨時大使キャッスル氏、駐支公使……次で若槻全權は……を受けた事を感謝する、日本國民は……期待し各國の協力を熱望する……で國務省に國務長官スチムソン氏海軍省に海軍長官アダムス氏を歷訪し出迎へに對し答禮の挨拶をなした

日本は最小限度の防禦的勢力を保持

華府における若槻全權の聲明

【ワシントン十六日發電】若槻全權一行はワシントン到着後ステートメントを發したが、右に於ては直接七割要求には言及せず徹頭徹尾戰爭反對と軍縮とを高唱し、日本の主張が攻撃的勢力保持に非ずして專ら最小限度の防禦的勢力保持に在る旨を說明したものであるが、アメリカ上院一部とアメリカ海軍々令部がワシントン協定は一般的協定であるために日本が殊更この比率以上に巡洋艦の比率を要求してゐると主張してゐるに對し、右ステートメントは一般の誤解を解くに相當効果あつた模樣で各方面の好評を得てゐる

七割保持讓步の餘地なし

若槻全權の率直明快な態度を米國記者團賞讃す

【ワシントン十六日發電】若槻全權は本日日本大使館に日米記者團を引見し
若しアメリカが一萬噸巡洋艦二十一隻を主張する場合には日本はその七割保持を主張するや
との質問に對し
日本は攻むるに足らず守るに充分なる國防安全の最少限度の勢力維持を欲するもので、潛水艦は別として他國の最高勢力の七割維持主張には讓步の餘地なしと答へ主力艦廢止問題、英、米の……勢問題を論じ、更に潛水艦に就……のアメリカ記者の質問に一々卽答を與へ鮮かに應答したので米國記者等は全權の率直明快な態度を賞讃した

日本服姿の財部夫人

記者の訪問責め

【ワシントン十六日發電】日本軍縮全權一行中の紅一點たる財部全權夫人は婦人第一の米國では大持てで夫人のあでやかな服裝……

【東京十七日發電】……佛國側の態度決定のため今朝各省聯合會議が開かれたが、ロンドン會議で成立すべき取り極めは最終的のものでなく國際聯盟にて改訂を加へ得べきものであるとの意見が有力であつた模樣である、尙イタリーの對佛海軍勢力要求問題は協定商議着々進捗してゐる模樣である

拓務懇談會

【東京十七日發電】拓務省主催第二回拓務懇談會は十七日午後二時より工業俱樂部に開會、拓務省側より松田拓相、小坂、小村兩次官以下關係局課長、來賓側は齋藤朝鮮總督、縣樺太長官、横田南洋長官始め學者實業家等約九十名出席
先づ松田拓相より
一、朝鮮、臺灣、樺太、關東州、南洋群島等の重要產業關係
二、移植民關係
三、海外拓殖事業關係
の三方面に分けて討議を願ひたいと挨拶し次で諮問事項たる
一、朝鮮、臺灣、關東州、南洋群島等に於ける重要產業に關し施設改善を必要とする事項如何
一、我國の現狀に鑑み移植民の奬勵並に保護指導上特に改善を行ひ又は新たなる施設をなすを必要とする事項如何
一、我が邦人の海外に於ける拓殖事業の指導奬勵上特に改善を行ひ又は新たなる施設をなすを必要とする事項如何
を提出專ら之に供し質問應答の後夫々各委員會に附託し晚餐を共にしたるのち八時散會した

未着手の鐵道線廿三線を削除

きのふ閣議で承認

【東京十七日發電】江木鐵相は十七日の閣議にて六十一線の鐵道建設未着手線中より五條阪本線(京都、和歌山)間以下二十三線を削る

閣議決定事項

【東京十七日發電】十七日の定例閣議は午前十時半より首相官邸に開會江木鐵相より來年度鐵道建設改良事業の立案につき說明し議政務を決定零時半散會した、決定事項左の如し
一、監獄官制中改正の件外十二件
一、特別會計第二豫備金支出の件
(臺灣其の他風水害)
一、國庫剩餘金支出の件
一、衆議院議決、建議及び請願三件處理の件

漢冶萍債權

肩替りに決定

【東京十七日發電】漢冶萍公司に對する預金部債權元利合計四千四百萬圓を製鐵所特別會計に肩替りの問題は大藏、商工兩當局間で折衝中のところ、十七日閣議席上井上藏相と俵商相と交涉の結果、四千四百萬圓全額製鐵所特別會計に肩替りするに略意見一致し、その具體的條件としては四十ケ年賦償還利率年四分とするに大體決定を見た

關東廳豫算と州稅制

【東京特電十七日發】明年度關東廳豫算のうち新規要求として認められた稅制々度調査費は三年間位の繼續を以つて行はれるもので、州稅制の體系を整へ負擔の均衡を圖るため先づ係員の人員增加をなし根本的研究をすることゝなつてゐるが地方稅中の根幹を成す營業稅は內地の制度に則り營業收益稅に改めらるべく、また第三種所得稅の實施に就いても種々攻究し州內の實情に應じて稅率を決定する筈

『解散避け得べし』政友會で樂觀氣分

超黨派的二重大問題を擧げて 元老側說落しの噂さ

【東京特電十七日發】議會召集も愈々數日の後に迫り政府及び與黨は解散斷行の大旆を高く揭げて着々これが準備を整へつゝあるに對し、野黨の政友會は未だ疑獄事件の進展を信じ對議會根本方針の確立を見ず黨內の意向は區々として犬養總裁はじめ一般の空氣は解散は免れ得べしとの樂觀々念に捉はれてゐる事實は見逃せない政府の

解散方針 同き今日、政友會が議會開會を目前に控へて尙消極的觀念に支配され議會鬪志を缺いてゐる理由に就いては疑獄事件の進展による政機轉換を過信してゐる事も一つの原因ではあるが更に議の二大重要問題は國家安危の岐るゝ處で、その處置を一步過らんか眞に憂ふべき結果を招來せぬとも限らぬ、斯る超黨派的問題は擧國一致的決意を以て解決に當るべきである、政友會としては解散もとより恐るゝ處ではないが、國家がために解散に猪突する事は國家のため寧ろ避くべきであるとの趣旨を吹き込み相當の信認を得たと謂はれてゐる、政友會方面では政府が解散を

奏請する 段取となつても元老その他の方面で之を欽許すまいと觀て居り、これらの原因より政友會は解散避け得べしとの樂觀氣分に捉はれ、犬養總裁以下幹部は表面頗る平靜を裝つてゐる次第で、一方最近漸く熾烈となつて來た小泉策太郎氏らを中心とする解散回避運動の態度は非政友の立場と關連して議會開會後如何なる形に於て現れて來るか各方面より多大の興味を以て觀られてゐる

解散は休會明け

研究會常務委員會で觀測

【東京十六日發電】貴族院研究會は十六日午後二時より常務委員會を開き五十七議會に臨む準備打合せをなしたるのち議會解散問題につき意見交換の結果
一、解散回避運動ありと言はれるが解散は避け得られぬであらう
しかし年內解散說は無理が多い

善後處置

ロンドン軍縮會議の……ることも元老方面に對し金解禁の……近牧野內府らと頻々と交通して……へらるゝ處によると犬養總裁は最……

滿洲の將來

太平洋調査會の反響

(4)……保々隆矣

三、支那側に於ける報告
由來支那人は「面子」を重んずるのと堅白異同の辯とは御得意である、况んや昨今の如く國權回收熱が高く又自國の事情を充分に究めず、歐米に學むだ儘の論鋒を直に自國に應用する青書生論多き支那に於て日本の新聞が京都會議の眞相を傳ふれば傳ふる程代表等は自己の「面子」や立場よりして如何はしい事を吹聽するのである。其如何はしい一々の報告を吾人が茲に紹介するなら何十日と書いても盡きぬ程種はあるが、筆者は極めて公平の見地から、在滿同胞に其眞相を傳へたいのである。
さて支那側委員の各地に於ける報告を通觀すると日本側の主張に爲つたことなどは一つも述べて居ない、例へば四日の夜の徐氏のオープン、フオラムが非常に成功であつた事を述べて居るが翌日の事は「有名なる松岡が何か言つて居た、中國の委員は毫も重んじて沈默して居つた」と奉天の代表などは言つて居り、徐氏自らも四日夜のことを吹聽し五日朝の事は言及して居ない。けれども、滿洲問題に關して凡ての者が「ミスター松岡」のみを指摘し居るより推するに松岡氏の所論に彼等が打擊を蒙つた事は明白である。上海の時事新報は數回に亘つて論議して居るが、その骨子は太平洋會議に於て支那側が不用意であつたに反し、日本は二ケ年も用意したと言ひ、且つ支那側の委員が統計其他學術的に硏究準備せざりし事を戒め、第四回卽ち明後年の會議には今より人員、硏究、調査に充分準備せなければならぬことを述べ更に「日本は滿洲の開發を硏究する事に華人の利益幾何と事實を書くに反し我(支那)代表は其答辯悉く漠然たる抽象的字句を連ねるに過ぎぬ對手方は勿論傍聽者をも動かすには足らぬ」と戒め又曰く
十一月十四日發載の大阪每日新聞に日本代表高石眞五郞氏執筆の「太平洋會議に列席して」の一文に注目すべき支那代表の態度を特筆し、日本の滿洲に於ける特殊利益を認めた云々との記事があるが、該報が宣傳の目的を含まれて居るか否かは臆斷の限りでないが、斯かる代表に對しては遺憾の意を表し、將來人選を愼まねばならぬ云々
と書いて居る。卽ち支那側は個人として內心同意しても一口でも滿洲問題に關し日本の特殊權益を認める言を述べた者は支那の言論界から大に排斥される相である。心にもない强がりを言ふのも一はこれが爲めである。
斯かる空氣の下に代表として來て居る支那側に對し「滿洲問題解決策」として日本側の所謂自由主義者から「民間調停委員會」だの「官設調停委員會」だのと種々の議を提起した譯であるが、所謂默目であるのは明白である。筆の序であるから此日本側の提議を書いて見ると
(一)日本は滿洲に於ける支那の主權を尊重し絕對に之を侵さぬ
(二)日支間の現存條約並に協定を認むること
と言ふのであるが廿一ケ條を無效とせむとする支那側に對しては何より此條約の法理的糾議をすることが先決問題ではないのか。
× ×
要するに。支那側の態度として彼等は京都會議に於て滿洲の問題を各國代表に宣傳したることを其收穫とし、日本側の所論に耳を傾けたる風はないのである、彼等は依然として廿一ケ條を無效とし、大にしては日本が依然旅順大連を占據するを不當とし、南滿線、安奉線乃至附屬地行政、守備隊駐屯を難じ、日本の軍隊警察に部分的行動ありと誣ゆるのであつて、現況より推すれば次回には更に巧妙なる論爭、堅白同異の辯をふるうのであらう。現地の記者に全然虛僞の事を續々數く宣傳されたる時折大袈裟をする筆者などは、國家として此大げさな宣傳に出會ふと目前の關係が破裂するのであるが、これも矢張り邪推記者同樣相手にならぬが一番よい策でもある
(つゞく)

我全權の挨拶をトーキーに撮る

直に映畫館で封切り

【ワシントン十六日發電】若槻全權一行は……

英佛首相が非公式に會見？

主要問題審議のため

【パリ十六日發電】……

打切線の緩和で

貴院各派態度硬化

【東京十七日發電】鐵道新線打切緩和問題に關し貴族院側では研究會が先づ十六日の常務委員會で反對の意志を表明したのを始め公正會同和會方面でも
一、臺灣特別會計より三百萬圓を融通をなすことは特別會計を設けたる本旨に反するのみならず旣に決定せる各特別會計公債半減の政府の方針を根本的に覆へすものである
二、與黨の反對に依り新線打切計畫が斯く變更緩和されることは鐵道當局に確たる方針無きことを暴露するのみならず國民に黨略の疑ひを濃厚ならしめ政黨に對する信用益々失墜せん
等の諸理由を擧げ反對意見を抱懷して居り、貴院各派を通じ險惡の空氣漸く高まらんとしてゐる
……から休會明けとなるであらう
二、政府は與黨の反對に遭ひ鐵道新線打切りを變更し豫定の公債發行額を流用することゝしたのは怪しからぬ、此の點よりも鐵道會議を無視するものとし政府の勝手に出來ぬ樣にせねばならぬといふ意見一致し同四時散會した

勞働組合法案反對陳情

【東京十六日發電】日本工業クラブの團理事長以下鄉、木村、中島藤原、內藤、宮島の各理事は十六日商工省に俵商相を又內相官邸に安達內相を訪問して勞働組合法案反對の意見書を提出し陳情する處あつた、尙十七日には濱口總理を訪問して同樣反對陳情をなす筈である

帝大理學部長更迭

東京帝國大學教授　松原行一
補東京帝國大學理學部長
東京帝國大學理學部長　中村淸二
依願東京帝國大學理學部長被免

つひに國際列車布哈圖に引き返す

蒙古軍襲來し危險の理由で 懸念さる海拉爾の外人

【免渡河十七日發電】十七日海拉爾方面の外人の安否を確むべき重任を帶びた國際調査會は、支那軍憲の要求に依りやむなく十七日午後四時免渡河發布哈圖に引き返した、理由は呼倫貝爾に如蒙古軍襲來し危險なりと云ふにある、支那軍は蒙古軍擊退のため物々しき戰備を整へてゐる、調査隊は布哈爾で形勢觀望の上前進するか又は空しく哈爾賓に引返すかを決定する筈であるが、前途は恐らく絕望で斯く海拉爾の外人の安否は依然不明のまゝ推移せば同地の外人の運命は愈々懸念さるるに至つた

市內全部掠奪さる

難を免がれたのは日本人のみ 慘澹たる海拉爾市中

【ハルビン特電十六日發】十五日海拉爾から避難し來り大阪の淸水商店に同ふ露國人コルコフはその近況に就き語る
海拉爾約一萬の住民中支那兵の掠奪を受けぬものは

日本人だ けであつた、それも去月二十三日迄の狀況で其後は一切知らぬが聞くところによると同二十五日露軍の先鋒が海拉爾に到着し米國系の銀行を襲ひ投石破壞したとのことで露國の米國に對する感情は非常に高調してゐる、これは不戰條約を楯に支那に味方せんとして米國の對露策の反感だ、自分は支那軍のために羊の牧場を破壞され羊を全部掠奪されたほか掠奪……

交涉成立後の支那軍配備

コロンバイル保護に全力を傾注する方針

【ハルビン發】露支和平交涉成立後は吉林、黑龍の軍隊を或る地點に集合する計畫であるが、支那側軍部當局の意嚮によると地方の匪賊に對する關係上俄に撤退を開始することは不可能で從つて國境方面には地方の

治安維持上 駐兵する考へである、其のうち
吉林軍第七、廿六の兩旅は東部國境――東寧から牡丹江、一帶密山に駐屯せしめ、騎兵第四旅は第七、第廿六兩旅の步兵部の後方にあり東北路の聯絡守備に當り、步兵第九旅は松花江下流同江、富錦、依蘭等に分駐第十二旅および工兵は吉林省を守備する、黑龍江軍は巴顏英部を以つて黑河沿岸に配置し步兵第二、騎兵第三旅北部國境に分駐西部國境に駐屯してゐた第十五第十七の二旅は露軍のため武裝解除されたが歸還後は編成を改め黑龍江興安嶺一帶に分駐せしめ、步兵第十四、第谷四、第十六、第五の各旅はチチハル滿昂線一帶に引揚げしめる、砲兵第三、四兩團は內蒙及コロンバイルに駐兵せしめるであらうと因に國境滿洲里の守備は最少限度に止め兵力集中をチチハル附近から

興安嶺一帶 に配置しコロンバイルの保護に全力を傾注するプランである、尙東北辺防第一軍王樹常第二軍胡毓坤の部隊は一部を邊防補充に止め一部は奉天に引揚しめる由

一時停頓 したと傳へるものあるも之は白系露人が爲めにせんとする宣傳である、交涉は圓滿に進捗してゐる事を斷言して憚らぬと
……道するに至つては滑稽である、尙一部では日本政府は滿洲里における邦人の犧牲につき露國に對し嚴重なる抗議をなしそれがためハバロフスクの露支交涉は支那側の態度硬化により

兩全權の

交涉は十四日から開始され十五、六日と續け、未だ議定書を作成するに至らず日本の通信には十四日旣に議定書に調印してゐるとあるが誤聞も甚しい、而かも哈爾賓から報ロフスクにおける蔡、シ……は慘澹たるものであつた、ハバ……

東鐵、支那線連絡運輸

愈よ開始を布告

【ハルビン特電十五日發】東支鐵道管理局は京奉、津浦、京綏、京漢等の支那鐵道と連絡切符六十キロ以內の小荷物、手荷物の直通取扱を左記により開始する旨を布告した
一、小荷物はハルビン、滿洲里、海拉爾、ボグラニチナヤの各驛から支那鐵道の錦州、北戴河、天津、北平、漢口、濟南、上海青島の各地に直通取扱をする運賃は普通貨物に比して二倍方安く發驛にて支拂へばよい
二、三等旅客と手荷物は上記の各驛以外の如何なる乘車驛においても取扱ふ外、鐵嶺、浦口、南潯鐵道等である
三、以上の各鐵道往復旅客の切符は滿鐵も支那鐵道も共に二割引きして取扱ふ

東鐵を訪問したが多分午後六時頃開通の筈

齊克線假營業

齊克鐵の敷設工事は幾多の今日に於ても尙進捗中であるが龍江、寧年間約六十キロは十五日から工事列車に三等客車を連結して假營業を開始するに至つた

ばいかる丸遲發

【門司特電十七日發】濃霧のため海外航路へ假泊したばいかる丸は漸く正午近く長江丸と相前後して門司入港午後三時發大連に向つた船客竹中貞雄、川瀨宗應、寺島由松、林中尉、井波勝諸氏尙天津行の長江丸も豫定より遲れ午後三時半出帆した

頑張る石本市長

石本大連市長は市會で不信任を決議されたが市事務は一日も澁滯せしむべからずとし、また就任後十ケ月間何等見るべき經綸業績なしとの非難に答ふるため十九日午後一時より稅務常設委員會を開會し稅制に關する種々の具體案、就中戶別割賦課を公平合理的に算定する基準を定めて整理を圖らんとする案等を諮る筈である、なほ來週中には學務、社會兩委員會、來々週には衞生委員會を開いて從來屢々報道した市當局の中央及消費市場改善案、商工學校改革案、衞生作業改善案等を附議し意見を求むることとなつた

檢查委員會

大連市會で成立した檢查委員會の第一回開會は十八日午後二時行はれる筈

井上元帥嗣子襲爵

【東京十六日發電】井上元帥嗣子三虎氏の襲爵の儀は今日正式に御沙汰があつた
故子爵井上良馨家督相續人　正五位　井上三虎
襲爵被仰付

內地行小包增加

十二月上半月中大連郵便局で取扱つた內地行小包は總數七千百八十四個で前月同期に比し二百卅二個の增加である

建築現業員懇談會

大連建築現業員組合では今十七日午後五時から保健浴場に於て懇談會を開催した

酒井博士逝去

【名古屋十七日發電】愛知醫大教授醫學博士酒井繁氏は十七日午後零時四十分腦溢血で逝去した

滿鐵豫算說明

竹中部長赴旅

滿鐵來年度豫算說明のため竹中經理部長は十七日午後零時半赴旅……

關東廳辭令(十三日附)

陸軍步兵少尉正八位　大槻洋四郞
任關東廳水產試驗場技手
休職關東州公立高等女學校敎諭　大熊光哉
復職を命ず
同(十四日附)
勳八等　渡邊猛
任關東廳警部補
同(十六日附)
正七位勳八等　立花知太郞
任關東廳郵便所長
同(十七日附)
關東廳技手兼關東廳水產試驗場技手　伏本政樹
免兼官
同　吉田稔
免本官專任關東廳水產試驗場技手
關東廳技手兼關東廳農業試驗場技手　石井三美
任關東廳農業試驗場技手兼關東廳技手
關東廳農事試驗場技手　蘆澤淸見
任關東廳農事試驗場技手兼關東廳技手
關東廳農事試驗場技手　秋山秋次郞
任關東廳技手兼關東廳農事試驗場技手

人事

▲宇佐美滿鐵鐵道部長　風邪のため十七日から自宅にて療養
▲ウフトモスキー氏(露紙ザリヤ社記者)大連視察のため十七日廿時半着列車にて來連、ヤマトホテルへ
▲リヤーシンツイフ氏(ルスコエ、スロヴォ社記者)同上
▲深見壽氏(鞍山製鐵所員)社務を帶び同上列車にて來連

安樂椅子

火山熱を工業に利用することを大に主張してゐるのはカタニア大學の火山學敎授で且つエトナ火山觀測所長たるガエタノ、ポンテ敎授である▲同敎授が考へたことは噴火口があつても高山は寒いので噴出する蒸氣を事務所へ引いてスチーム暖房裝置を設ける案である▲これは鐵管及び調節作用により格別の困難なく實行されたので學生達は勿論ポンテ敎授も大恐悅▲そしてこれに味を占めたポンテ敎授は將來火山熱を大工業に利用することを力說し殊に蒸氣力を善用することによつて莫大の利益を得ることが出來ると主張してゐる▲またエトナ山の頂上には强い風が不斷に吹いてゐるからこれを風車に利用することも一ツの方法だといつてゐるがこの風車案については目下シシリーの工業專門技師の間で硏究されつゝあるから近き將來に於て實現を見るに到るやも圖られない▲尙ポンテ敎授は二三年の內には世界の主なる火山の週期的噴出に關し比較的正確な硏究を發表し得る決心の程を語つて居る

本日廳報を添ふ

定期後場(銀建)

▲大豆(混保)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	百八十三車			

▲豆粕(混合)(單位錢)
▲豆油(混合)(單位錢)
▲高粱(混保合)(單位厘)

現物後場(銀建)

▲包米(出來不申)　大豆(混保)　豆粕　豆油　高粱　包米 [illegible]

錢鈔

定期後場(單位錢)

現物後場(單位錢)

商品　後場

麻袋(保合)　鐵筋　銘柄 [illegible]

神戶特產(十七日)

大豆現物　先物　豆粕現物　先物　滿洲小麥　豆油現物 [illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	[illegible]	[illegible]
大紡新	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

滿洲日報

日支國交上の惡戲

小幡酉吉氏のアグレマン問題

故佐分利氏の後任として小幡酉吉氏が駐支公使に擬せらるゝや王外交部長などは時局の切迫に果せられてか、歡迎するやうな態度を示してゐたが、南京の危機も一ト先づ去り例の井中の蛙式な地方の外交官などが小幡氏の來任を歡迎せぬやうな强がりをいふと今さらの如くアグレマンを與へぬの何のと騒ぎ出した。

◇

何とか外交會員などは排日を職業として年中行事の如く騒いでゐる連中であるから日本人の誰かれに對しても恐らく反對するであらう。小幡氏に限らず駐支日本公使は日本帝國の使臣である以上、容易に支那から歡迎されぬことも無理からぬことである。併し支那の氣に召さぬからとて今さら小幡氏を引き込めるやうな日本でもないことを豫め支那の方々に承知して置いて貰はねばならぬ。何の彼のといふならば日本は駐支公使を當分遣せずに支那人士の目の覺めるのを待つまでの話である。

◇

世界の國際外交において殘され居る懸案の多いこと日支間における如きものはあるまい。この多數の懸案は日本のためには勿論、支那のためにも一日も早く解決し兩國間の關係を安定せしむることが最も肝要ではあるまいか。かの條約改訂の如き大問題も一日も早く解決し置くことは日支の國際關係を確立することとなるのである。而してわが日本には前々公使芳澤氏時代から支那側の交渉に應じ來つたものであり、また佐分利氏時代に入りても既に準備は整つてゐたのである。佐分利氏の死去により小幡氏が駐支公使に擬せらるゝに至つたといふことは對支交渉の準備が何時にても開始し得ることを示すものではあるまいか。然るに支那側、いや南京の國民政府は名は中央政府なるも、その實は地方軍閥の毛の生えた程度のものなるの故に石友三軍の些々たる叛亂に上下騒然、根柢より動搖を感ぜしめらるるの情勢であつた。この時あたかも小幡氏の問題が擬せられつつあつたのである。時局が暫定的に小康を得るや今さらの如く二十一ケ條問題や山東交渉の過去帳を繰くやうなことを敢てする、過去は過去、現在は現在ではないか過去の條項に束縛せらるる現在の不合理を改訂せんとするのが懸案解決、時局安定の方法ではないかこの意味において日本が小幡氏を支那に差遣せんとするは支那に日本の福音を傳へ日支の國際關係を光明に導かんとするに外ならぬのである。然るをたゞ感情的に好惡を表示し個人の人格を傷つけんとするが如きは日支の國交上、決して面白い現象といふことは出來ぬ

◇

それから駐支公使なるものは日本國家の使節であり、時の政府の方針によつて外交を進捗せしむるものである。勿論、公使が外交官として差遣せらるゝ以上は政府の外交方針の大綱だけに準據するもので仕上げは流々、出先公使の裁量に委せらるゝにしても根本方針は國是として確立せらるゝところからの發動に外ならぬのである。果して然らば今さらの如く二十一ケ條や山東交渉などを舁ぎ出すのは少しく大人氣なしといふの外はあるまい。そんな小手先のいやがらせをいふよりは日本の對支根本政策について研究すべきではあるまいか。東洋の平和とか日支の外交關係といふ重大問題を考察する場合には須らく大局高所に立脚して成否利害を判斷すべきである。

◇

若し支那側において故意に平地に波瀾を起さんとならば恐らく日本政府は故なく前案を撤回するやうなことはあるまいと思ふ。果して然らば一日も早く解決を急がねばならぬ日支兩國間の國際懸案を徒らに遷延することより外に何らの効果もないのである。これ吾人の日支兩國の親善、共存共榮の將來のために遺憾とせねばならぬところである。これもまた支那側の小兒病的の一發露事と認め支那人有識者の反省を促すものである。

市長の問題

石本大連市長は二十三票對三票の差で不信任を票決された。併し石本市長は斷然辭職せぬと頑ン張る。そこで大連市政は何處へ往くのであらうか。

公約か口約か知らぬが、それ自體が既に待合市政といふことも出來やう。公約したとか、せぬとか自己の地位を擁護せんとしての口約に外ならぬ。市民の福利とか公益とかに何らの關係もないことである。市民からすれば十一月に辭職するとかの誓約、その誓約を認めた市會議員、どちらも感服し得ぬといはねばならぬ。

併し今さら過去を顧みても何の効果もあるまい。われらは將來今後の解決安定を期するのみである

かくなつては何れ監督官廳が傍觀し得まいが、大連市政の一切更新を期するも惡くはあるまい。それには石本市長も潔く辭職し、また市會議員諸君も辭任して一切合財を新にしては如何、從來の如く市政事務以外のことで始終、市會が紛糾また紛糾を重ねられては如何に寛仁大度の大連市民も堪つたものではない。新らしい酒を盛り陣容を新にして新らしい皮袋に市民の生活と直接大關係のある公設市場問題などから先づ解決し行くべきではあるまいか。

外地扱の献金は外地會計へ

國債償還資金處分に献金者の意志尊重説

【東京發】國債償還資金献納の國庫收納手續は目下大藏省に於て攻究中であるが一方、問題になるのは右國庫に收納された償還資金の處分方法である、即ち内地の分は一般會計の減債基金に繰入れること勿論であるが朝鮮、臺灣、關東廳その他の取扱献金も亦

一般會計 の減債基金に繰入れるか或は例へば朝鮮特別會計の如く、明年度から其既發公債の減債基金は當該特別會計自身に於て總額の萬分の百十六を賄ふことになつて居るので財源の折柄假令少額なりと雖も植民地で取扱つて收納したものは矢張りその特別會計の負擔すべき減債基金に繰入れるべきものかといふ點である、關東廳特別會計においても亦同樣の立場となる筈であり一見これは當然

特別會計 の減債基金に繰入れられるべきものゝやうに見られるが而も實際問題になると次の如き事實も考へなければならない即ちそれは献納者自身の意思表示如何の點であつて例へば献納者が（在滿邦人中には多分こう云ふ人が相當あるだらうと思はれる）國債償還資金の献納をなす場合に彼の數萬の同胞が滿洲各地に於て尊い鮮血を流して日露戰爭當時のことを回想した結果、その當時發行した

戰時公債 の償還資金として献納し度いと特に申出でたとすると鳥渡考へねばなるまい、且つ斯な既發公債總額の上から見れば極めて少額の献納金であるが之れを關東廳の會計上から云へば假令數萬でもそれだけの財源が他の經費豫算にも影響する譯である、然し朝鮮、關東廳等の會計の如き年々一般會計から補給金を受けて居るのであるから結局右の取扱に係る献納金は當該會計の償還資金に充當されることになるだらうと觀られてゐる

東北軍が空軍を充實

佛國から飛行家招聘

【ハルビン發】露軍の飛行隊に散々な敗戰をした東北軍では既に前線に派遣した役に立たない飛行隊を全部一掃し、戰事に何等の活動力を發揮しない飛行士を全部諭旨し近くフランスから優秀な飛行家を招聘し東北省の航空軍の充實を計る由で、航空學校の創設と長距離飛行術の訓練に積極的の改革を行ふ方針であるが、既にフランスには飛行家の招聘に對し張學良氏から交渉中であると支那側は傳へてゐる、これは今回の露機の爆彈投下に驚戲され今後の對外軍事は航空軍の充實如何で決定するものであると考へた結果である

北滿の製粉業 活氣を呈す

【ハルビン發】北滿製粉工場は七月露支紛爭直後から小麥、麥粉の出廻禁止に操業を短縮しいづれも多大の影響を蒙つてゐたが、露支和平交渉も目下ハバロフスク市に於て圓滿進捗（十五日）中であるとの報に漸次活氣を呈し、若し交渉が成立すれば當然出廻解禁となるであらうとの豫想から早くも小麥を買占める製粉業者あり、カバルキン工場では平常の如く盛んに製粉をしてゐる、其他廿八軒の工場は一齊に工場の全能力を發揮する準備を整へつゝあるが、一月の製粉總量は約八萬五千布度に達し其のうちハルビン十六の製粉工場からは約七千布度、安達二、昂々溪二、滿溝一、呼什河一、一面坡一、海林二、双城堡及東部線其他の大小工場からは合計六萬布度の製産をすることになつたと

八相

投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以内のこと

龍頭蛇尾を悲む

大連　堤生

我國が天然の資源に惠まれてゐないことゝ工藝技術が幼稚であることは優良安價大量的生産を不能ならしめてゐる、そして工業の進歩發達が勞働力の量的增加と伴はず殊に幾何級數的に增加して行く大多數の農民が限りある農耕地の上に生活の總てを需めて行かなければならない傾向にあること、人口が稠密で國民の生活程度が比較的高尚過ること等の結果として我國の消費經濟生産經濟を無視した跛行的膨脹に陥り輸入超過は常套原則の如くなつてゐるのである、而も此輸入超過國たる我國が金の産出微量なるにも不拘金本位貨幣制度採用國たることを國際的に餘儀なくされてゐることがいやが上にも我對外貿易を不利に誘導してゐるのである、斯した國狀を荏苒三十有餘年間漫然と續けて來た結果遂に抜き差しならぬ泥濘の中に踏み込んでしまつた、之が所謂經濟國難なるものである、素より此國難は濱口内閣の同伴者でもなければ金解禁問題の副成物でもなく六十億といふ國債が一朝一夕に累積したものでない事も勿論である、献金の赤誠、節約自制の覺悟共に瞻歎すべしである、併し一時風聚的のそれであるならば此深刻なる國難を打解し得る由もない、生活改善も極端に過れば破綻となり改惡ともなる、經濟國難の打解は生産經濟の充實を計ること第一義であり、消費經濟の改善第二義である、而も兩者は不撓孜々として遼々萬里の旅に就くものの如くあらねばならぬ、吾々は曩に公私經濟緊縮委員會なる機關の出現したことを聞いた、併し彼によつてなされたる何物をも知らない、哀れや其揭げさへ龍頭蛇尾化せんとしてゐる、私は其機關が一片の宣傳ビラに過ぎなかつたことを思ひ悲しむものである、私は其機關は寧ろ産業助長に關する根本方策の樹立と其實行を目的とする有力なる機關として世に見えたらん事を庶幾ふ、而して吾人民衆が自制力行彼と相呼應し以て國難打解の實務を果すの用意あることを聲明するものである

犬養總裁と婦選同盟の猛者連

婦選同盟で十三日が創立滿五周年に相當したので本支部の會見代表久布白、坂本、市川、金子、藤原の諸女史を初め總出で旺んなる記念會を催したが、此れに先だち午前十一時より幹部連打揃つて各政黨を訪問し婦人參政問題について陳情して廻つた、寫眞は犬養總裁の自宅を訪問せる猛者連

南征雜錄（61）

難波勝治

未開の東岸（下）

併し剝き出しの蕃地氣分を味はうとすれば、何しても花蓮港以南にその資料を求めねばならぬ、尤も地方も今や頗る當時とは全く趣きを異にし、鐵道あり、電信あり教育衛生等の設備亦年々其面目を新にした、曾て蕃人の横行に任せた明治四十一二年頃の光景を見ることは出來ぬが、而も

各地一般 に人口稠密なる西部で、蕃人の數は本島人と内地人との合計より多く、其處に西部と隔離された社會狀態とその環境とを存して居る、凡そ臺灣に於ける花蓮港、臺東二州の平野ほど、高峻な天嶮に依つて外界との交通を遮がれてゐる處は稀であらう、之が全島十三萬餘の蕃人中、その八割を永い間此地方に原始生活を營ませた理由だが、それだけ歴代の總督は理蕃政策に不斷の努力を傾注したのであつた、今西部及び宜蘭平野から東海岸の此地分に到る

交通路を 概括すれば

一、基隆又は蘇澳より海路花蓮港に至る者
二、高雄より海路臺東に至る者
三、蘇澳より花宜道路を經て花蓮港に至る者
四、臺中州能高郡霧社より能高山を越えて花蓮港に至る者
五、臺中州集々より八通關を越えて玉里に至る者
六、高雄州枋寮より浸水營を越えて臺東に至る者

等である、右のうち、能高、八通關、浸水營の三路は領臺後理蕃の爲に開かれたもので、何れも東は五千尺乃至九千餘尺の

高嶺を踰 え、或は無數の斷崖や溪流を横ぎるなど、探險家には喜ばれるが商業價値は頗る僅少である、花宜道路は古くから地方人に使用されて居たが、之とて羊腸たる三十一里の山徑に過ぎぬ、隨つて往來の最も頻繁なのは花蓮港と臺東への海路で、目下大阪商船所屬の長春丸及び撫順丸が、基隆高雄間に月六回の東岸廻航をなし別に蘇澳花蓮港間に六百噸の別府丸を往復せしめて居るが、併し東岸の最大缺點は良港に乏しい事である、花蓮港も臺東も何等防波物のない砂濱であつて、少し

風波の强 い日は全然積卸が出來ぬ、之が爲に南に於ては高雄、臺東間の鐵道敷設が熱望され、北に於ては蘇澳、花蓮港間の自動車道路が取急がれて居る主因だが、就中目下進行中の後者の如きは比類稀な難工事で、幾里に亘る峭立數千尺の花崗岩面に、二間道路を掘鑿して居る狀況は、眞に寸進尺歩の觀その者である、臺灣統治は既に三十餘年の歴史を經過し、その間區々毀譽の批評をきかぬでもなかつたが、今から回顧すれば驚歎すべき治績が少くない、殊に東部臺灣は生蕃の巣窟として知られ、之が

討伐招撫 に幾多の生命と國帑とが犧牲に供せられた、最近の調査に依れば蕃人の種別は七族に分れ、タイヤル、サイセット、ブヌン、ツオウ、パイワン、アミ及びヤミが即ちそれで、蕃社數七百十五、戸數二萬二千五百餘、人口約十三萬七千であるが、大部分は官命を遵ずる歸順蕃であつて、慓悍不屈、依然馘首の蠻風を固守して居る者は、僅かにタイヤル族中のガオガンと、その他の二三社四五千人を越えぬといふ、彼等は今や深山幽谷中に追込められ、一般行政上に障碍となるべき勢力を有たぬが、之は

初期に於 ける總督府政治の一大成功である、蕃問題は漸して征服された蕃人と其他の開發にあつて、今や交通設備に手が染められて居る際だが、それが又西部に比して幾層倍の努力を要する者たる事を、私は右の自動車道路工事に見て痛感したのである。

（寫眞はタイヤル蕃人）

コドモページ

童話　船の出る日（下）

眞木浩二

とう／＼お父さまとお別れをしなければならない時間になりました。

お父さまは、金モールのついた綺麗な洋服を着て、出發の用意をいたしました。その時、さつき次郎さんが入れてをいた手紙を見つけました。

お父さまはその手紙を笑ひながら讀んでゐましたが、次郎さんのあたまをなでながら

「あゝよし／＼おいしいおみやげを澤山買つて早く歸つて來るからお母さまの言ふ事を聞いてよく勉強をしてゐなさいよ」と言ひました。

次郎さんは

「お父さんは、何日歸つて來るの？」と寂しさうな顔をして聞きました。

「さあ、來年の二月のはじめ頃になるだらう、なあに、すぐだよ」

やがて、お父さまの用意も出來たので、次郎さんはお母さんと一諸にお父さんを岸壁まで見送りに出かけました。

外は海から吹き上げて來る氷のやうな潮風が吹き通してゐました。雪は益々降つて來ます。

港は次郎さんのお家から近いのですぐ着きました。

「では、行つて來るよ、病氣をしないやうにね」

お父さんはさう言つて岸に大きく横たわつてゐる汽船に上つて行きました。

次郎さんと、お母さまは、雪で眞白になつた棧橋の欄干によりかゝつて船の出るのを見送りました。鷗は薄暗い雪の空の中を飛び廻つて居ます。次郎さんの外套もお母さまの傘も眞白に雪が積りました。

やがて大きな汽笛が續け樣に鳴つて船は靜かに岸を離れました。

お父さまの手袋をはめた白い手が上甲板の上から靜かに動いてゐるのが見えます。

次郎さんとお母さまとはいつまでも／＼船の上のお父さまの姿を見つめてをりました。そして何時の間にか淡い電燈の光が二人の影を長く長く白い雪の上に落してゐました。

そして次郎さんはいつものやうに「お父さまはどうして僕や、お母さまを殘して船長さんなんかになつたのだらうか」と思ひました

「お母さん、お父さまが居ないと寂しいねえ、ほんとうにお父さまはどうして船長さんなんかになつたのでせう」と言ひました。

そして次郎さんの眼には小さな涙が光つてゐました（終り）

僕等の童謠

僕のおひざ

柴田正一

僕のおひざは
かはいさう
遊んでる時
すりむいて
赤いかはが
黒くなり
むけてなほると
又こんどは
ちがうおひざを
すりむくよ
「正ちやんのおひさは
どうでせう
いつでもきずが
たへないで」と
こないだママが
おつしやつた
けれどもこれからは
大じようぶ
さむくなつたから
くつ下を
はいておひざを
入れたから

電氣はべんり

パット電氣が
つきました
今までくらい
おへやの中が
きふにあかるく
なりました
町にも電氣が
つきました
電車の中にも
つきました
電氣はほんとに
べんりです
僕の内では
おざしきに
電氣ストーブ
つけてます
電氣アイロンも
つかつてます
こんなべんりな
電氣をば
はつめいしたのは
アメリカの
エヂソンといふ
えらい人

子ねずみ

大廣場小學校二年　森照男

夜中にゴトゴト
子ねずみが
勝手の方で
さわいでる
ぼくがしつこに
おきたので
みんなしづかに
なりました
夜中にゴトゴト
子ねずみが
ふろ場の方で
さわいでる
何をさがしに
來たのだらう
なにもなくて
おあいにく

ハーモニカ

ぼくはハーモニカ
大すきだ
學校でならつた
おうたでも
すぐに上手に
ふけますよ
ぼくはハーモニカ
大すきだ
一番はじめに
ふけたのは
夕やけ小やけで
ありました。
ぼくはハーモニカ
大すきだ
あんまりふいて
ゐましたら
お口がいたく
なりました。

ちやうちん

金州小學校尋二　戸崎□

赤い、まあるい
ちやうちんは
よるにとぼすと
きれいです。
あかいまあるい
おかほして
ちようちんほんとに
きれいです。

新刊の……◇よい兒童讀物　教專讀物調査會發表

教專內兒童讀み物調査會第十六回例會に於て推薦された讀み物は左記の二冊である。

▲新譯古事記讀本　古代のしかも大人の讀み物を、子供の讀み物として飜譯するに當り兒童の讀み物としてはどうかと思はれる部分は省いても是非この種の企ては必要であると考へる。上卷は神代で、事件を中心に、中、下卷は天皇を中心に書かれてゐるのも秩序立つた書き方である。而も、標題は飽く迄趣味的で、行文も亦雅麗である。裝幀も歷史としては相應しく、唯紙質がよくないために見劣りがするが、兒童讀物として價の廉ならんためには蓋し已むを得ないであらう。尋三、四以上の程度、三浦藤作著、菊版、裝幀乙、文教書院發行、價一圓八十錢

▲學級文庫平家物語　平家物語りの口語譯であるが、全體を十章に分け、總括的に話を纏めてゐるその點は從來のこの種のものに比し頗る特色があり要領を得てゐる。そのために話が斷片的にならないで平家らしいふつくらした味が出てゐる。ヨウネン社編、四六版、裝幀甲、價一圓八十錢

兒童の作品

てぶくろ

金州小學校三年　小山內春江

きのふは、おほうりだしだつたので、おかあさんは、かひものにいきました。しばらくするとおかあさんは、大きなふろしきづゝみをさげてかへつていらつしやいました。わたくしは、なにがでるだらうと、まちかまへてゐると、おかあさんは「てぶくろを、かつてきましたよ」と、いつて、りつぱなてぶくろを、くださいました。わたくしは、あまりうれしいので、そのてぶくろを、はめてみるとたいへんあたゝかでした。わたくしは、おかあさんに「ありがたう」と、おれいをいひました。

米歐　ところどころ……（六）　巴里にある無名戰士の墓

阿左見福馬

これは、パリー凱旋門下にある無名戰士の墓です。今から十五年前、世界大戰の際、佛國から出陣して祖國の爲めに名譽の戰死を遂げた人々を記念する爲めに、銅版に事蹟を刻み、之に花輪を供へ、火を焚いてあります、道行く人が帽子を取つて敬意を表してゐるのには感心しました。

▼雪のお話（二）　花より美しい雪の結晶

昨日宿題を出して置いた滿洲の雪と內地の雪との違ふわけがわかりましたか。どうもわからない人が多いやうだナ、では、おぢさんが話してあげませう。ところで、皆さんは、雪がどこから降つて來るか知つてゐますか、空の雲から、さうです、空の雲から降つて來るのです。雨もやつぱり空の雲から降つて來るのですが、空の溫度が零度以下に下ると、雨にならないで雪になります

此の頃、皆さんのおうちの窓ガラスは、お外が見えないやうに凍つてゐるでせう。しかし、あれはガラスが凍つてゐるのでなくてガラスに氷がついてゐるのですね。しかも、その氷が外側にはつかないで內側にだけついてゐるのです。何故ガラスの外側には氷がつかないで內側だけにつくのでせう。こんな問題を出すと、かしこい皆さんは即座に、それは溫いお部屋の空氣の中にある水蒸氣が、冷たいガラスに觸れて氷になるのだよ、と答へるでせう。さうです、ガラスに氷がくつつくのは

外の溫度が氷點以下の時です、しかし、外の溫度が氷點まではゆかなくとも室內の溫度より低い時にはガラスに水滴がくつつきます。眼鏡をかけた人が外からストーブをたいてある室內に入つて來ると、急に眼鏡がくもるのもそれと同じわけです。このやうに水蒸氣をたくさんふくんだ空氣が、冷たい空氣に遭ふと雲になり雨になるのですが、空氣の溫度が、氷點よりぐつと下つてゐると、雪になるのです。そして其の時の溫度によつて雪の出來方が違つて來ます。

先づ、高空の溫度が氷點より僅かに低いやうな場合は水蒸氣が徐々に凍つて、美しい花のやうな結晶になつて空から舞ひ下りて來ます。しかし、溫度が氷點よりもよほど下つてゐると、結晶してゐるひまがありませんから急に固まつて小さい米つぶのやうな雪になつてバラ／＼と落ちて來ます。此のやうに空の溫度によつて雪の出來方がちがひますが、滿洲の雪と內地の雪との違ふわけも全くそのためで滿洲では內地のやうにボタ／＼した雪が滅多に降らないのは

滿洲が內地よりも溫度が低いからなのです。滿洲でも年に一度か二度は內地のやうな柔かい雪が降ることがありますが、それはたいてい冬の初めか終りごろのそんなに寒さがきびしくない時で、雪投げや、雪だるまをこしらへて遊んだり出來る雪はそんな時の雪です。皆さんは雪の結晶を見たことがありますか、若し見たことがなかつたら是非一度見てごらんなさい、恐らく皆さんは目を丸くして驚くでせう何故つて、それは餘りに

美くしい結晶だからです。雪の結晶を見るのは北風の強い日に降るあの砂のやうにこまかい雪では駄目です。先づ大形の雪が降るときに虫めがねを用意して外に出るのです。そして空から降つて來る雪を學校帽か何かの上に受け、溶けない中に虫めがねでのぞくのです。先づ皆さんはどの雪を見てもその形が必ず六角形であることを發見するでせう。尚よくしらべて見ると、六方に枝が出てゐるもの、その

枝に又こまかい毛のやうな枝がついたもの、中には二枚重つて美しい結晶をしたものなど一つ一つが皆異なつた模樣になつてゐます。こゝに載せた寫眞はいろ／＼の雪の結晶を寫眞に寫したものですが、これがほんたうに雪なのだらうかと思はれるやうな美しさです。しかし、實物を見ればこれよりももつと／＼美しい結晶を發見することが出來ます。今度雪が降つたら忘れないで見てごらんなさい。下にたまつてゐる雪を虫めがねで見たつて駄目ですよ（をはり）

畏し皇后の御召し
癩病の在滿邦人七名に
木綿縞織、裏地下賜の御沙汰
きのふ關東長官宛

皇后陛下には今回歳末に際して畏くも癩しき國民を御救恤遊ばさるゝ思召から十七日宮内省電報を以て、目下奉天赤十字病院に於て療養中の邦人七名に對しそれぞれ木綿縞織一反、同裏地一反並びにお手許金七圓を御下賜あるべき旨太田關東長官宛御沙汰あらせられた、右御沙汰に接した長官は直ちにこの旨內地併置の日本赤十字滿洲委員本部に移牒、奉天病院に通報すると共にこの限りなき國母陛下の御思召に對し厚く御禮を言上ある旨即日大森皇后宮大夫宛謝電を發信した

司法當局は一歩も假借せぬ
山梨大將起訴決定に某司法大官語る

【東京十七日發電】小梨大將に關する一件書類（起訴狀も含む）は既に渡邊法相の手に渡されてゐたが、法相は十七日早朝起訴狀に捺印し茲に起訴手續の形式を終つた從つて今明日中に上奏御裁可を得て正式に起訴し即時豫審に廻附する段取となつた、右につき某司法大官は語る

山梨大將問題は大浦事件と異なり事情が惡く官位勳等一切を辭したとて到底不起訴となるものでない、司法部は最早や一歩も假借しない

審理漸く終る
五日間にわたつて續行
けふから證據調べに移る
滿洲共産黨事件公判

滿洲共産黨事件公判第五日目は引續き十七日午後一時より鵜生高女年ほか多數傍聽裡に續行、午前公判廷に於いて裁判を拒否せる伊藤は保辯護人たる古賀辯護士に諭され裁判長の前に立つ伊藤は不愛想な口調で、鳥取縣米子中學四年修了後、松江高等學校に入學したが

極端な 厭世思想に捉はれ遂に虛無思想に陷つたが、それを紛らはす爲寄宿舍に於て酒を飲んで暴れたところ、某日寄宿舍の硝子窓を破壞し諭示退學となり、更に私立育英中學五年を卒業して鳥取縣の給費生としてハルビン日露協會學校に入學、昭和三年十月學生ストライキに連坐して放校となつた

徑路を 喋く喉に陳述、更に裁判長との間に

「ストライキの時廣瀨が來たのか」
「廣瀨君は當時和田維三と名乘つて來たので廣瀨が本名だと知つたのは大連で逢つてからの事です」
「其時廣瀨は金を呉れたか」
「呉れました」
「いくら呉れた」
「十圓か二十圓か忘れました」
「他人から金を貰つてしかも貧しい一學生から貰つた金を忘れるとはよろしくないぢやないか人に貸した事は忘れても良いがね」

と揶揄つて笑はせる、伊藤は更に八月米連しロシア語の

飜譯等 をしてゐた事を語り次でマルクス主義に關して
「國有にした財産は例へば土地等は個人が又國家から貰ふのか借りるのか」
「――借りるといふ事になるのですかね……よく分りません」
「日本の社會に對しては怎う考へてゐる」
「私有財産制度を廢止すべきだと考へてゐます」
「そしたら家屋の私有等廢止したら皆空家になつて了ひ誰が這入つたら良いのだ」
「そんな實際の事はよく考へた事はありません、唯無産階級が獨裁して階級が無くなれば良いのです」

と頗る間答の樣な事を續け法廷の諸々でクスノヽ

笑ふ聲 が聞える、次いでビラ郵送に就いて「當時偶然田中君の處へ遊びに行つて其仕事を手傳つたので法に觸れる等とは考へなかつた」と結び、二時半裁判長は十八日午前十時より證據調べに移る旨を告げ閉廷を宣す

海關保管の武器
近く南京政府へ送る

ドイツ汽船リツクマース號が積載して來た武器百五十噸はその後海關の手にて寺兒溝危險倉庫に保管中であるが先般芝罘より潘珍年の使と稱する男が來り國民政府より同武器を潘珍年に引渡せと命令あつたと海關に對し種々交渉をなし同武器に關し世論が喧しくなつたが、この程國民政府より又復同武器を南京宛送附すべく當地海關宛命令して來た、從つて同武器は不日南京に向つて送附の筈であると

物價や勞銀調査
警察の手で
きのふの協議會で決定

今回關東廳より物價調査規定及び勞銀調査規定なるものが、制定され近く訓令の形式に依つて發令さるるが右に關して十七日午後一時より大連署に目下關東廳文書課長、藤崎商工會議所書記長、細谷市助役、滿鐵より二村社會課長及び市內四警察署長、警務主任、大連民政署よりも出席し

市內の 物價調査に就いて協議した、從來物價取調べは州外は警察の手に依り行つてゐたが、大連市內に於いては民政署、市役所、商工會議所等各自それぐゝやつて居り、來年一月一日より實施さるべき右規定によつて一切右事務を警察の管掌に移しその統一を圖る事に決した

青島上海視察團
各方面で歡迎されて
早くも滿員の大盛況

ツーリストビユーロー大連支部主催の歳末年始を利用した青島、上海視察觀光團は經濟の折柄各方面に多大の歡迎を受けつゝあるが

參加者は 九割までが俸給生活者で大連を中心に旅順、遼陽、鞍山、奉天、撫順、長春、哈爾賓等沿線各地から參加し滿鐵社員が最も多く軍司令部員、小中學校の先生、滿日社員その他で殊に大連醫院の看護婦十名餘の參加は異彩を放つてゐる、音樂家の齋藤佐和氏夫妻、市會議員小野實雄氏等も團員となつてゐるが、多分小野氏が團長に推薦されることにならうと見られてゐる

歸途船中 に於ける年頭祝賀試しの福引賞品は近くビユーローの店頭に飾られる模樣で團員七十名は募集間もなく滿員となり更に十九名增員を行ひしもこれまた滿員の盛況でいまは二十九日の出帆（奉天丸）を待つだけになつてゐる

天津北平の觀察團は昨年の上海觀光當時暮れは商用上支障が多いため年頭にとの希望から本年は一般實業家方面に便宜を圖る目的で計畫されたが會費の高い關係からか目下のところ應募者が少いやうである、然し個人單獨の視察は如何に

節約し ても百五十圓以上を要するが團體觀光はその半額で出來るから極めていゝチヤンスである、殊に北平滯在中希望すると

東京大阪間超特急車
四月以後に運轉

【東京十七日發電】過般の試運轉に驚異的の好成績を擧げた東京大阪間の超特急列車は懸案されてゐた線路の關係も何等支障なしとの結論に到達したので鐵道省では愈々明年四月以降七月迄の間に於ける適當の時期に定期の旅客列車として運轉するに決し右實施に要する經費三十一萬六千圓並に保安費三萬一千圓を計上する運びとなつた尙時間其の他に就いて今後研究する

者には最も雄大な雪中の長城（八達嶺）まで案內するといふからより以上に興味も深からうと見られてゐる

僞せの航空軍曹
旅館て盜難の訴へ出
化けの皮を剝れ拘留十五日

十六日夜市內磐城町三杉旅館止宿香川縣生れ、平壤航空軍曹補欠兵山本某と自稱する男より旅館に於て金八十圓竊取されたと大連署に訴へ出たので直ちに刑事を派して嚴重取調べたが、何等盜難の證跡無く且本人の申立曖昧なので本人に就いて密かに內査せるところ、前夜逢坂町某妓樓に登樓せる際敵娼が密に財布を改めたところ僅かに三圓五十錢しか

持合せ てゐぬ事判明したので本人を嚴重追求したところ盜難の申立は宿錢が拂へぬ爲め苦し紛れの口實で本籍氏名も夫々虛構の中藤豪信（三〇）と云ひ肩書もでたらめな事と判明、大目玉を喰つたうへ氏名詐稱の廉に依り拘留十五日に處せられた

關門地方の濃霧
ばいかる丸立往生する

【門司特電十七日發】關門地方は十六日午後六時ごろから多季には珍しく二十年來、かつてない濃霧に閉され關釜連絡船德壽丸は下關に入港する能はず六連島沖に假泊したまゝ立往生し十七日午前二時やつと下關に着いた同船は十六日夜下關發釜山へ引き返す筈であつたのが右の次第になつたから荷物船新羅丸を代船として十六日夜十一時發釜山に向はせた、また十七日朝神戶から門司に入港天津に行く筈の大阪商船長城丸は十六日夜から山口縣本山沖に立往生し同じく大連行のばいかる丸も門司港外部崎沖に立往生して濃霧に閉ざされたまゝ今朝十一時になるも動くことが出來ずに居る、但し正午すぎには入港し得るだらうとの見込みで從つて出港時刻は多少おくれると

道路維持や掃除協議

十七日午後一時より關東廳土木課大連出張所に川合關東廳衛生課長武內同土木課長、市より杉山衛生主任及び市內各警察保安、衛生主任等集り、大連市除雪、道路維持及び掃除事務に關して協議會を開いた、從來大連市に於いては車道の掃除は民政署人道は市役所、道路修繕、側溝掃除は土木課が行ふ事になつてゐたが、今後一切の事業を市役所に讓り土木課は專心道路改良及び新設に從事する事を提議し市ゝ所側は經費の關係から

市會に かけたうへ決定する事となつた、なほ市より土木課に對し老虎灘文化住宅地域の下水施設を完備する樣依頼したが、この費用約三十萬圓を要するので漸次實施する事に決しその他市內住宅附近の洞路掃除、塵芥箱の設備等について警察側で市と協力改善する事項等を決し午後四時散會した

遲れ馳せながら花代値下げ
愈よ大連三業組合が
明し花は從前通り

豫て花代値下について協議中の大連三業組合にては幾度か寄會をみて態度決定を見るに至らなかつたが遂に去る十五日の總會に於て左の改正値段を決議し十七日午後大連署より認可されたので、十八日再び協議會を開いて多分十九日か二十日より實施するに至らう、右改正値段によれば表面上二割値下げ斷行せるもの丶如くであるが

明し花 は從前の儘とし巧にその重點を避けてゐる

△花代の分　一時間一圓六十錢（但し花代一本四十錢一時間四本）最初の一時間は線香一本增（四十錢）貰ひ線香及び返し線香は各一本增
△約束花（三時間と定む）　五圓二十錢
△明し花　自午前一時至午前九時二十五本（十圓）
△大仕切　自午前九時至翌日午前九時六十本（廿四圓）
△貸席　一席一圓六十錢以下
△飮食物　酒一本三十錢、ビール四十五錢、シトロン二十五錢、吸物一等自三十五錢至五十五錢三等自二十五錢至三十錢、口取一等自九十錢至一圓三十五錢、三等自二十五錢至三十五錢、刺身一等自五十五錢至七十五錢、三等自二十五錢至三十五錢

故宗之助の遺子
帝劇に辭表提出
未亡人の思遣りから

【東京十七日發電】帝劇と松竹の合併から座附俳優に大きなシヨツクを與へて居る折柄帝劇專屬子役の澤村宗之助、由之助、升之助の三人兄弟は十六日午後四時突然西野社長山本專務に辭表を提出し此の機に學業の勉强と身體の健康を增進し新時代の俳優としての土臺を作るため一旦舞臺を退く事となつた

前代澤村宗之助の時子未亡人が三人を舞臺から退かしめる決心をするに至つた裏面には子役生活の慘めさをマザノゝと見てゐる上に夫が舞臺で斃れたと云ふ悲しい經驗から將來の俳優としては健康な身體と時代に適應した頭腦を持つ事が必要であると云ふ母親の深い思慮からである目下長男宗之助二男由之助は曉星幼稚舍に三男升之助は芝巴小學校に通學して居り三人とも出來れば專門學校まで通らし度い未亡人の希望である

大連丸損害
四、五萬圓程度

大連丸の失火に關してはその後水上署司法係大連汽船貨物係等もその損害程度に關し調査中であるが大汽が發表したところによると何分揚荷が全部終了しない間は判然とした數字は判らないが船體自身には大した損害を認めないため貨物のみと見て概算四、五萬圓程度のものであらうと

慌しい人の心を乘せて疾驅するタクシー
雪が降ると餘り儲からぬ商賣
師走を行く（17）

車輪が疾驅する、ヴイツクが走る、グラハムペーヂが滑る、フオードが搖れる、エセツクスが喘ぎる、慌しい歳末情景にスピードとテンポが加へられて、何んとこれは颯爽たる姿ではないか？十九百二十九年と車輪の兆幅が怒ろしい勢で嚙み碎いてゐるのだ。

◇

「おい九十五號ハイヤーだ」
ぶるノゝノゝ車輪は寒天に悲鳴をあげる、ガソリンが文明の匂を傑んだ大連街頭に撒らして行きずりの人に輕い侮りの言葉をあびせかけてゐる。

これで三十四回目のハイヤーですつたまりませんね、だけど今のうちにうんと稼せいでおかなくちやあがつたりさあ、結局忙がしいのは年末ですよ、それに今日の樣に雪でも降りやオールナイトで五十回も出なくちやならない事もありますよ

◇

大連にタクシーはどれ程あるか車はどれ程あるかそのうち自用車は幾臺か？この數は陸軍から總動に確實にする樣に嚴く命ぜられてゐる、だが大體の數はタクシー三十輛、車輛は六百、昨年の四百臺に比較して怒ろしい躍進ぶりである、この六百臺のうち自用車は約二百と見ても大差なからう、そして今この躍進された年末の慌しい時を氣狂ひの樣になつて走り廻つてゐるのだ。

◇

年末で雪でも降りや隨分儲かつてゐるだらう？こんな事を運轉手に聞こうものなら
お冗談でせう雪に降られてタイヤにチエンを卷いて走る段になると五十哩位のスピードを出すほどガソリンが要りますよ、結局うんとヘイヤーに出ても儲けたんてそんなにありやしないんです
とくる、そこで慌しければ必らず儲けがあると定つてゐない事が發見されてゐる、殊にタクシーの運轉手にとつて今一番つらいのは長く待たされる事で、十分も客待ちしてゐるとガソリンが凍つてしまふ狀態である。

◇

昔、大連から老虎灘まで七圓の時代があつた、今それが市內五十錢均一、逢坂町に入る事は四十錢といふ、そのうへ車を選ばれてガタつく車は後にも掛けられないと東京あたりのキザなモボは車の名を多數知つてゐる事によつて、そのモボ振りに箔がつけられてゐるといふ、ともあれ慌しい年の瀨の巷頭を疾驅するタクシーの群はまた慌たゞしい人の心を乘せて右に左に行交ふのである（宮眞は常盤橋の交叉點）

私文書僞造で
貔子窩署員收容さる

貔子窩民政署員の不正事件として十六日召喚された貔子窩民政署雇譯生小柳仁及び法務係顧川國太郞の兩名は、既に檢擧された巡査高井太郞及び元年隊と共に高井檢察官の手に依り嚴重取調べられてゐたが、十七日午後六時半私文書僞造等の罪名に依り拘引狀を發せられ直に關東刑務所に收容された

けふのラヂオ

昭和四年十二月十八日（水曜日）
自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後二時三十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後六時　ニユース
自午後六時三十三分（內地中繼）
一、通俗財話　年末の金、谷孫六
二、清元　新曲おなつ狂亂（下卷）年內逍遙作詞、清元梅吉作曲、（淨瑠璃）清元梅太夫（同）清元梅美太夫（三味線）清元梅次（同）清元梅一郎
三、琵琶　廣德寺、鶴田旭窓
四、浦綾講談　怪男兒（第三席）大島伯鶴（以下白局より）
五、料理獻立
六、天氣豫報

愛慾の窓（191）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

審判（一）

殺人犯人草野久彦の最後の公判の日は來た。傍聽席は例によつて滿員だつた。この親しい友を殺害した無類の兇悪信所員に對して、如何なる刑が下されるであらうか…それが最後のそして究極の興味であつた。誰ももう久彦の冤罪を思ふものはなかつた。たゞ傍聽席の片隅にぢつと顔を擧げて、被告席の久彦の窶れた横顔を凝視めてゐる實知子一人を除いては。

いや、そしてもう一人、實知子の手から例の小森英太氏の遺書を受取つて、今、法服のポケット深く藏してゐる辯護士を除いては！

度の強い近視眼の眼鏡を光らした檢事が、やをら起立して峻嚴な論告を下した後、裁判長が辯護士に向つて、もはや辯護人の辯論もその要はあるまいと思ふがと云はんばかりな態度で、形式的に辯護士の起立を促すと、靜かに辯護士は腰を立つて、ポケットから取出した遺書を高く翳した。

「裁判長並に檢事諸公！」

辯護士の自信に滿ちた聲は、瞬間、公判廷を水をうつたやうな靜けさのうちに鎭めた。

「本辯護人は、もはや被告人のために一語の辯護をも必要としない事實を認めるものであります！何故か？何なし、本殺人事件に於ける眞犯人の告白書を入手することを得たからであります！我輩は、この告白書を裁判長及び檢事諸公の閲覽に供することによつて、辯論に代へようと思ふ！おそらく百萬言の辯論も、この告白書の前では無役でありませう！」

辯護士は、たゞそれだけを述べると、傍らの廷丁に遺書を手渡した。廷丁はそれを書記の卓に屆ける。書記は恭々しく、裁判長の前に致した。

裁判長は、その封書を展くと、眉をひそめながら讀みはじめたがみる〜繋ひ切れない驚愕の表情でその顔色は變つていつた。讀みをはると、しかし靜かに裁判長は檢事に廻した。檢事の顔にも緊張の色が歷然と現れた。次々に廻された陪席判事も、たゞならぬ氣色を示した。それもその筈である、一代の實業家として社會に活動した小森英太氏が自殺に臨んでの暗い秘密の告白遺書なのである！」

判決を前にして、この不意打に法官達も度を失うた。裁判長は事態容易ならずとして休憩を宣した。そして休憩中にこの遺書を公開の裁判に於いて讀すべきか否かの内議を遂げた。何せよ、社會的に知名の士の犯した驚くべき犯罪であり、且つ當人はすでに自殺を遂げてこの世の人ではないのである。併しながら事は一個人の私事であつて、公明なるべき裁判の上に隱蔽するに避くべき事柄ではない。よろしく公開の公判廷に於いて、この遺書の眞僞を檢證すべきであるといふところに落着いて、間もなく再び開廷、裁判長から事の次第が公表されると、傍聽席は忽ち色めき渡つた。傍聽者は全く思ひがけない拾ひものをしたやうなものである。

だが、かうなれば公判は次回にまで延期されなければならなかつた。遺書の眞僞を鑑定するためには、小森英太氏の生前の文書を綜べてその筆跡をたしかめねばならぬ。その上令息なる小森英樹をさらに參考人として召喚して、遺書の眞僞、秘密の眞否を糺さなければならないことゝなつた。

被告席に在る久彦は、然し意苦い吐息を洩らして、この意外な方向への發展を、むしろ心によろこばうとはしなかつた。死刑に否打つに忍びない氣持であつた。最初の間は、何うかして身に覺えのない罪の断りを立てゝ、刑罰を免れたいといふ希ひに苦み悶えたが、悶えぬいた後に到つた久彦の心境には、一種の悟りがひらけてゐるのである。冤罪をおそれはしないのだ、犧牲の法悦が、そのおそれを償うて餘りあるのだ。

が、實知子は自分の苦心の酬いられたよろこびを抱いて、いそいそと家路についた。

——もうこれで此方のものだわ！この次の公判には小森さんが參考人になつて出廷してくれる！さうして小森さんはもう以前の小森さんぢやないんだわ！

然し家に歸ると、黒田が興奮な顔をして

「……大變なとが出來たんだ！」

さう實知子の顔を見るや否や叫んだ。

新刊紹介

▲歌の作りやう（同氏著）初心者のために和歌の要領を說いたもの定價七十錢發行所同上
▲けがれた王座（鷹田林嶽氏著）一印刷職工である僕の過去十ケ年間の生活記錄であると自序の最初に書かれた詩集、定價五十錢發行所同上
▲花の花言葉（福本暴花氏著）定價五十錢發行所同上
▲強壯讀（健康增進叢書）木下東作氏が第一章體育の定義から第四章體育の方法まで、また東龍太郎氏がスポーツ生理內機能等について詳說してゐる（非賣品）大阪每日新聞社豫約出版
▲實話全集（奇談怪談實話）東京麴町下六番町平凡社豫約出版
▲フイルハーモニー（十二月號）定價二十錢新響學園發行
▲滿洲短歌（十二月號）滿洲鄉土藝術協會發行定價三十錢
▲富士（新年號）附錄としては新案智囊袋の別冊がある大日本雄辯會講談社發行定價五十錢
▲合明（十二月號）滿洲短歌會發行定價二十錢
▲現代（十二月號）大日本雄辯會講談社發行定價五十錢
▲音樂世界（十二月號）東京市神田區小川町其社發行定價四十錢
▲毛絲編物の編み方 主婦の友に發表された百餘種の毛絲編物を收め更に根本的に補足を加へてある主婦の友社發行定價九十五錢
▲經濟學新講第一卷（九州帝大敎授高田保馬氏著）本書は總說と生產の二篇よりなり總說を更に經濟學と經濟學の根本概念、理論經濟學の問題の三章に分ち通ぶる處は經濟學の意義、社會科學中における經濟學の意義、經濟學及び經濟政策との關係、經濟原則、經濟組織と單位、效用と價値及び價格、而して著者は理論經濟は綜合經濟學…わけてもその發達の過上にある資本主義經濟學を考察するに二つの立場から論じてゐる更に第二篇の生產の理論と生產の概念、勞働、生命、手段、企業生產の五章に分ち各問題に對する該博なる研究を發表してゐる（二五四頁定價二圓東京市神田區一つ橋通町三番地岩波書店發行）
▲白秋全集（第九卷）第二回配本で蜻蛉の眼玉、兎の電報、祭の笛、花咲爺さんの童謠集アルス版非賣品豫約出版
▲白井喬二集（現代大衆文學全集第十九卷）兵學大講義以下廿八篇を收錄、平凡社非賣品豫約出版
▲キング（新年號）キング名調集と科學的運命判斷の附錄がある大日本雄辯會講談社發行

滿日俳壇 募集規定

次回課題「多の月」「毛衣」「千鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛